

令和 5 年 度

**教育に関する事務の管理及び執行状況
の点検・評価に関する報告書
(令和4年度対象)**

令和5年11月

帯広市教育委員会

目 次

1	教育委員会の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	（1）組織・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	（2）主な職務権限・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	（3）令和4年度教育委員会の活動状況・・・・・・・・	2
2	点検及び評価の基本的な考え方・・・・・・・・	5
	（1）趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・	5
	（2）対象・・・・・・・・・・・・・・・・	5
	（3）方法・・・・・・・・・・・・・・・・	5
	（4）学識経験者の知見の活用・・・・・・・・	5
	（5）帯広市教育基本計画の施策体系・・・・・・・・	6
3	点検及び評価の結果・・・・・・・・・・・・・・・・	8
	（1）基本目標 夢の実現に向けて自立し 互いに支え合う人づくり	8
	（2）基本目標 生涯にわたり学び 活躍できる人づくり	36
4	教育に関する学識経験者の意見・・・・・・・・	54
	参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・	56
	資料1 令和4年度教育行政執行方針・・・・・・・・	57
	資料2 令和4年度予算決算・・・・・・・・	59
	資料3 令和4年度における主な取り組み一覧・・・・・・・・	61
	資料4 成果指標の推移・・・・・・・・	70
	資料5 令和3年度の課題及び今後の方向性に対する令和4年度の取り組み	75

1 教育委員会の概要

(1) 組織

教育委員会は、政治的中立性を維持しつつ、安定性・継続性を確保して教育行政を管理・執行するため、首長から独立した合議体の執行機関として設置されています。帯広市教育委員会は、市長が市議会の同意を得て任命した教育長及び4人の教育委員で組織されています。

帯広市教育委員会（令和5年3月31日現在）

- 教育長 広瀬 容孝（令和4年7月7日就任）
- 委員 田中 厚一（平成19年4月1日就任）
- 委員 藤澤 郁美（平成27年6月23日就任）
- 委員 佐々木 しゅり（平成28年6月23日就任）
- 委員 柳川 久（令和2年12月21日就任）

(2) 主な職務権限

- 教育行政の一般方針に関すること。
- 委員会規則及び規程の制定及び改廃に関すること。
- 不服申立及び訴訟に関すること。
- 学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。
- 通学区域の設定及び変更に関すること。
- 職員（道費負担職員を除く。）の任免、分限及び懲戒その他の人事に関すること。
- 道費負担職員の校長及び教頭の任免並びに道費負担職員の分限及び懲戒の内申に関すること。
- 社会教育委員の委嘱及び解職に関すること。
- 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。
- 教育予算その他議会の議決を経るべき事件の議案についての意見申出に関すること。
- 教科用図書の採択に関すること。
- 重点計画の策定及び変更に関すること。

(3) 令和4年度教育委員会の活動状況

期日	番号	案件
令和4年5月10日	議案第14号	帯広市特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正について
令和4年5月24日	議案第15号 議案第16号 議案第17号 報告第9号 報告第10号 報告第11号 その他	帯広市奨学条例の一部改正について 帯広市社会教育委員の解職について 帯広市社会教育委員の委嘱について 帯広市図書館協議会委員の任命について 「帯広市岩内自然の村」の方向性について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について (1) 今後の事業予定について (2) 寄附受納について
令和4年6月3日	議案第18号 議案第19号 議案第20号 報告第12号 報告第13号 報告第14号 報告第15号 その他	令和4年度帯広市教育行政執行方針について 令和4年度帯広市一般会計補正予算(第5号)について 帯広市岩内自然の村条例の廃止について 帯広市教育支援委員会委員の委嘱について 帯広市学校給食センター運営委員会委員の解任及び任命について 帯広市南商業高等学校のスクール・ミッションについて 帯広市教育研究所運営委員会委員の委嘱について (1) 今後の事業予定について
令和4年6月29日	議案第21号	帯広市教育委員会教育長の辞職について
令和4年7月2日	議案第22号 議案第23号 議案第24号 議案第25号	職員の人事について 職員の人事について 帯広市教育員会事務局組織の一部改正について 帯広市教育施策推進委員会設置規程の一部改正について
令和4年7月21日	議案第26号 議案第27号 議案第28号 報告第16号 報告第17号 報告第18号 報告第19号 その他	教科用図書の採択について 高等学校用教科用図書の採択について 帯広市岩内自然の村条例施行規則の廃止について 教育長職務代理者の指名について 帯広市青少年問題協議会委員の解任及び任命について 帯広市スポーツ推進審議会委員の解任及び任命について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について (1) 帯広市議会6月定例会の報告について (2) 今後の事業予定について (3) 寄附受納について
令和4年8月19日	議案第29号 その他	令和4年度帯広市一般会計補正予算(第8号)について (1) 今後の事業予定について
令和4年9月2日	議案第30号 報告第20号 報告第21号 その他	令和3年度帯広市一般会計歳入歳出決算認定について 第10回中城ふみ子賞入賞作品について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について (1) 今後の事業予定について (2) 寄附受納について
令和4年9月26日	議案第31号 議案第32号	令和3年度帯広市文化賞及び文化奨励賞等の決定について 令和3年度帯広市スポーツ賞及びスポーツ奨励賞の決定について
令和4年9月29日	議案第33号	職員の処分について
令和4年10月28日	議案第34号 議案第35号 議案第36号 議案第37号 報告第22号 報告第23号 報告第24号 その他	帯広市奨学条例施行規則の一部改正について 令和5年度帯広市立高等学校の入学募集について 令和4年度帯広市市民文芸賞及び市民文芸準賞の決定について 帯広市指定文化財の指定について 教育長職務代理者の指名について 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について (1) 帯広市議会9月定例会の報告について (2) 今後の事業予定について (3) 寄附受納について
令和4年11月18日	議案第38号 議案第39号 報告第25号 報告第26号 その他 その他	令和4年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について 令和4年度帯広市一般会計補正予算(第12号)について 「帯広市岩内自然の村」の廃止後の建物・土地の利活用に係る民間事業者選定のための公募型プロポーザルについて 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について (1) 今後の事業予定について (2) 寄附受納について
令和4年11月30日	議案第40号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について
令和4年12月7日	議案第41号	令和4年度帯広市一般会計補正予算(第14号)について

期日	番号	案件
令和4年12月27日	議案第42号 議案第43号 報告第27号 報告第28号 その他	職員の人事について 帯広市学校開放事業の管理運営に関する規則の一部改正について 令和4年度とかちジュニア文芸各賞の決定について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について (1) 帯広市議会12月定例会の報告について (2) 今後の事業予定について (3) 寄附受納について
令和5年1月11日 令和5年1月26日	議案第1号 議案第2号 報告第1号 その他	職員の人事について 帯広市教育振興基金条例の一部改正について 帯広市学校給食センターにおける運営手法の調査・研究について (1) 今後の事業予定について (2) 寄附受納について
令和5年2月16日	議案第3号 議案第4号 議案第5号 議案第6号 議案第7号 報告第2号 報告第3号 報告第4号 その他	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係教育委員会規程の整理に関する規程制定について 職員の人事について 令和4年度帯広市一般会計補正予算(第16号)について 令和5年度帯広市一般会計予算について 教職員の処分内申について 令和4年度帯広市教育研究実践表彰並びに帯広市学校文化活動奨励賞について 帯広市奨学生選考委員会委員の解職及び委嘱について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について (1) 今後の事業予定について (2) 寄附受納について
令和5年2月27日	議案第8号	令和3年度帯広市一般会計補正予算(第18号)について
令和5年3月15日	議案第9号 議案第10号 議案第11号 議案第12号 報告第5号 報告第6号 報告第7号 その他	帯広市立学校管理規則の一部改正について 令和5年度帯広市教育行政執行方針について 帯広市学校評議員運営規程の廃止について 教職員の人事内申について 令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について 令和5年度帯広市学校教育指導の重点について 学校保健安全法第20条に基づく臨時休業について (1) 今後の事業予定について (2) 寄附受納について
令和5年3月20日	議案第13号 議案第14号	職員の人事について 職員の人事について
令和5年3月28日	議案第15号 議案第16号 議案第17号 議案第18号	帯広市教育委員会事務局組織規則の一部改正について 帯広市教育委員会会計年度任用職員の任用等に関する規則の一部改正について 教育委員会が保有する個人情報の保護に関する規則の廃止について 教育委員会が管理する公文書の開示に関する規則の廃止について

・教育委員会会議開催回数 22回
 議決案件 48件 うち非公開 37件 (うち所定の手続き後会議録を公開 35件)
 報告案件 27件 うち非公開 14件 (うち所定の手続き後会議録を公開 6件)
 その他 23件

〔参考〕教育委員会会議の非公開について

教育委員会会議は、公開が原則ですが、①個人の権利を侵害するおそれのあるもの、②職員の任免、賞罰、人事等、③議会の議案に係る意見申出、④訴訟、不服申立に係るもの、⑤教育行政の公正、円滑な運営に支障が生じるおそれがあるものについては、出席委員の3分の2以上の多数で、公開しないことができます。(帯広市教育委員会会議規則第16条)

② 課題研究協議会開催状況

回数	期日	テ ー マ
1	令和4年11月18日	学校給食センターにおける運営手法の調査・研究について

③ 総合教育会議の開催状況

期日	番号	案件
第1回 令和4年12月27日	協議事項	学校給食の役割と取り組み

〔参考〕総合教育会議について

帯広市総合教育会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第1条の4第1項に基づき設置するもので、以下の事項について、帯広市長と帯広市教育委員会による協議及び事務の調整等を行うこととしています。

- (1) 帯広市の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱の策定
- (2) 帯広市の教育を行うための諸条件の整備その他の地域の実情に応じた教育、学術及び文化の振興を図るため重点的に講ずべき措置
- (3) 児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置

④ 研修会参加状況

期日	場所	研修会等	出席者
令和4年7月28日	Zoom	(文科省)市町村教育長・教育委員研究協議会	4人
令和4年8月23日	滝川市	令和5年度北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会	3人

2回 延べ7人

⑤ 行事等参加状況

期日	行事名	出席者数
令和4年4月8日	大空学園義務教育学校開校式	4人
令和4年9月30日～ 令和4年12月9日	市内小中学校公開研究会等	21人
令和4年8月1日	帯広市PTA連合会との懇談会	4人
令和4年8月20日	十勝人形劇協議会との意見交換会	5人
令和4年9月7日	令和4年度帯広市教育講演会	1人
令和4年10月10日	スポーツ賞・スポーツ奨励賞表彰式	5人
令和4年11月1日	帯広市開拓140年・市制施行90年記念式典	2人
令和4年11月3日	帯広市文化賞・文化奨励賞・文化活動功労賞表彰式	5人
令和4年11月13日	若葉小学校開校50周年記念式典	1人
令和4年11月24日	給食交流会(稲田小)	3人
令和4年11月25日	中城ふみ子賞授賞式	2人
令和4年11月27日	大正小学校開校50周年記念式典	1人
令和4年12月3日	八千代中学校開校70周年記念式典	1人
令和4年12月10日	帯広市民文芸賞表彰式	1人
令和5年1月4日	帯広市新年交礼会	1人
令和5年1月9日	20歳の集い	1人
令和5年2月18日	とかちジュニア文芸表彰式	1人

延べ59人

2 点検及び評価の基本的な考え方

(1) 趣旨

効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たすため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育の取り組みについて点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、あわせて市民に公表するものです。

(2) 対象

「帯広市教育基本計画（令和2年度～令和11年度）」の体系に従い、令和4年度に実施した取り組みを対象として、点検及び評価を実施しました。

(3) 方法

点検及び評価は、第七期帯広市総合計画の政策・施策評価と整合を図りつつ、「帯広市教育基本計画（令和2年度～令和11年度）」の「個別施策」ごとに行いました。具体的には、成果指標の達成状況や令和4年度における主な取り組みなどを踏まえながら、令和4年度における取り組みの成果と、課題及び今後の方向性の2つの観点から、点検及び評価を行いました。

(4) 学識経験者の知見の活用

学識経験者から点検及び評価に関する意見や助言をいただき、教育委員会が点検及び評価を行うに当たって客観性を確保するとともに、今後の取り組みに活用していきます。

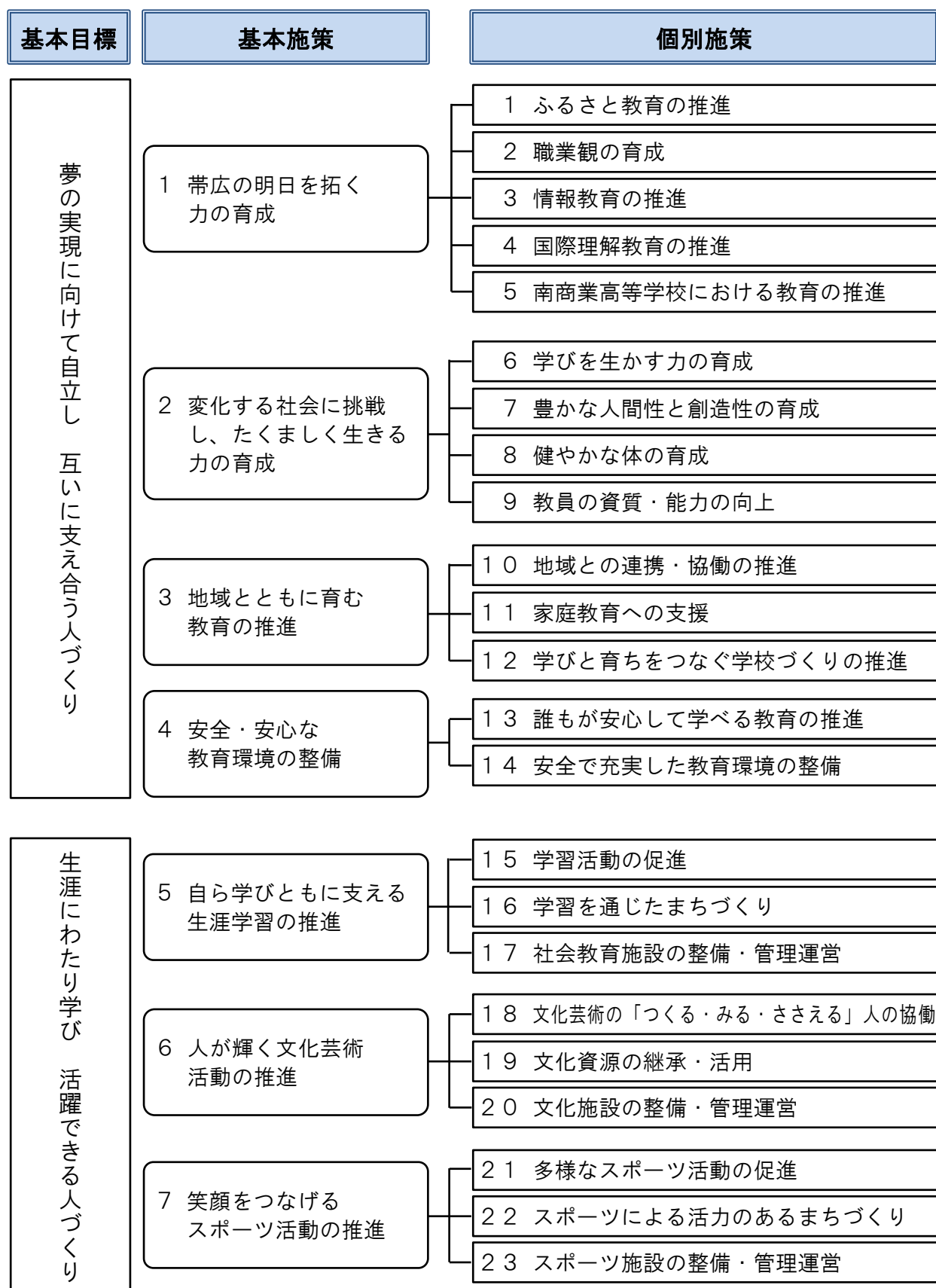
参考1 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(5) 帯広市教育基本計画の施策体系



めざす姿

子どもたちが地域に誇りと愛着を持ち、社会の一員として地域活動に積極的に参加しています。

子どもたちが様々な職業に興味を持ち、働くことの大切さや地域産業への理解を深めています。

子どもたちがインターネットに関する基本的なルールを理解し、情報通信機器を正しく活用しています。

子どもたちが世界の多様な文化に関心を持ち、外国の人と交流しようとする姿勢を身に付けています。

生徒たちが専門的な知識・技術を身に付け、地域で活躍する人材が育っています。

子どもたちが意欲的に学び、課題の解決に粘り強く取り組んでいます。

子どもたちが互いの価値観を尊重し、多様な人と協力し取り組んでいます。

子どもたちが運動に親しみ、心身ともに健康的な生活を送っています。

教員が子どもたちと向き合い、子どもたちの力を引き出す指導が行われています。

地域の人たちが子どもたちの教育に積極的にに関わり、健やかな成長を支えています。

各家庭において、子どもたちが規則正しい生活習慣や社会的なマナーを身に付ける教育が行われています。

学校間の連携により、子どもの個性を理解し尊重した指導が継続的に行われています。

障害の有無や家庭の経済状況等に関わらず、誰もが安心して学んでいます。

安全で機能的な学校施設の整備など、良好な教育環境のもとで、子どもたちが充実した学校生活を送っています。

誰もが生涯にわたり、目的やライフステージに応じた学びを続けています。

学習を通じて身に付けた知識や経験をまちづくりなどに生かしています。

社会教育施設が積極的に活用され、多様な学習活動が行われています。

文化芸術活動を通じて、心の豊かさや生きがい、人とのつながりが生まれています。

歴史、伝統、文化への理解を通じて、ふるさとへの誇りと愛着を持っています。

市民が文化施設に魅力を感じ、積極的に活用しています。

誰もが、「する・みる・ささえる」など多様な形で、スポーツに親しんでいます。

誰もが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツで集い、まちの賑わいづくりにつながっています。

スポーツ大会の開催をはじめ健康増進や仲間づくりなど、多くの人がスポーツ施設を活用しています。

3 点検及び評価の結果

(1) 基本目標 夢の実現に向けて自立し 互いに支え合う人づくり

基本施策1 帯広の明日を拓く力の育成

個別施策	1-1 ふるさと教育の推進
めざす姿	子どもたちが地域に誇りと愛着を持ち、社会の一員として地域活動に積極的に参加しています。
施策担当課	学校地域連携課、学校給食センター、学校教育指導課、教育研究所、児童会館、百年記念館、動物園、スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある子どもの割合(%)						
区分	基準値 【H27～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	44.7	39.4	48.8	49.6			60.0 以上
中学校	39.1	38.9	41.1	42.9			55.0 以上
＜成果指標の達成状況＞ R3と比較して小学校では0.8ポイント、中学校では1.8ポイント増加し、目標値に向けて進捗しています。 「おびひろ市民学」での出前授業等を通して、授業協力者との関わりが十分に醸成されたことによるものと考えられます。							

令和4年度の主な取り組みの内容	
◆おびひろ市民学 子どもたちが、十勝・帯広の歴史や文化、自然や産業等について、小中義務教育学校9年間を通して系統的に学び、十勝・帯広への理解を深め、郷土への愛着や誇りを育むために、地元企業等と連携した授業を実施しました。 また、令和4年度からは、中学校第3学年において学びのゴールとして「帯広のこれから～私の行動宣言～」という単元を実施し、帯広のことを学んだ子どもたちが帯広の未来をじっくりと考える機会をもちました。	 帯広市の未来について 提案するプレゼンの様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1) 地域資源を活用したふるさと理解の促進 「おびひろ市民学」において、十勝・帯広の歴史や文化、自然や産業等について小中義務教育学校9年間を通して系統的に学び、郷土への愛着や誇りを育むとともに、様々な体験を通じて地域社会の一員としての意識を育む教育を進めました。また、関係団体の新規協力を拡充したほか、学校以外の各種教育施設においても、それぞれの特色を活かし、展示や各講座等を通じた学びの機会を提供しました。
	(2) 食を通じたふるさと理解の促進 「ふるさとの日」や「学校給食週間」における、地場産食材を活用した「ふるさと給食」の提供を通じて、児童生徒における地域の食や産業への理解促進を図りました。また、「おびひろ市民学」において「帯広らしい食育プログラム」を実施し、栄養教諭や食育指導専門員による、食を通じたふるさと理解を進めました。
	(3) 地域社会に参画する意識の醸成 各団体等と連携し、体験活動やリーダー研修を通して地域や学校での活動に取り組む青少年リーダーの養成を行いました。また、まちづくりに参画する社会の一員としての意識づくりのため、租税教室において租税の役割や公共施設の整備について理解を深めるとともに、小中義務教育学校において親子防災講座を実施しました。
	(4) 環境教育の推進 環境破壊や自然災害を自らの課題として捉え、課題解決に当たる主体性を育むため、実社会との結びつきを意識した教育を進めたほか、児童会館や百年記念館での展示・出前講座等により環境について考え学ぶ機会を提供しました。
課題及び 今後の方向性	(1) 地域資源を活用したふるさと理解の促進 郷土への愛着や誇りを育むため、引き続き「おびひろ市民学」による学びを進めるほか、関係団体の新規協力の拡充を図ります。また、地域資源や特色を生かしたスポーツ体験や、動物、科学等に触れる機会を提供します。
	(2) 食を通じたふるさと理解の促進 地域の食や産業への理解促進を目的として、今後も地場産食材を活用した「ふるさと給食」の提供を行うほか、「おびひろ市民学」における「帯広らしい食育プログラム」を実施し、栄養教諭や食育指導専門員による、食を通じたふるさと理解を進めます。
	(3) 地域社会に参画する意識の醸成 各団体等と連携しながら、体験活動やリーダー研修を行い、養成事業の充実を図ります。また、子どもたちが消費者の権利や責任ある消費行動を理解し、計画的な金銭管理の必要性や契約の仕組み等の基本的な知識を身に付ける機会を提供するほか、小中義務教育学校において親子防災講座を実施し、ボランティアや防災活動への参加等への意識を高めます。
	(4) 環境教育の推進 学校での環境教育を推進し、子どもたちが地域の自然環境について学び・考える機会を設けるほか、帯広の自然や学校以外の教育施設を活用した体験機会を提供します。

個別施策	1-2 職業観の育成
めざす姿	子どもたちが様々な職業に興味を持ち、働くことの大切さや地域産業への理解を深めています。
施策担当課	学校地域連携課、学校教育指導課、図書館、児童会館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	人の役に立つ人間になりたいと思う子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	93.6	93.8	95.6	93.8			100.0
中学校	94.6	95.6	95.5	96.9			100.0

＜成果指標の達成状況＞

R3と比較して中学校では1.4ポイント増加しましたが、小学校では1.8ポイント減少し、目標値に向けて進捗していません。各校におけるキャリア・パスポートの活用による系統的な指導の充実や、一人一台端末の活用によるインターネット等を活用した多様な調べ学習を行ったものの、理解を深められなかったことによるものと考えられます。

令和4年度の主な取り組みの内容	
◆動物園におけるインターンシップ・キャリア教育等への取り組み おびひろ動物園では、飼育員や獣医師を志望する大学生のインターンシップや実習生の受け入れ、小中義務教育学校のキャリア教育等の講師依頼を受けて、飼育員の仕事について講話を行っています。 小中義務教育学校生のキャリア教育では、飼育員や獣医師を目指したきっかけや、動物を扱う仕事に関する心構え等をわかりやすく伝え、将来の進路選択の一助となるよう講話を行いました。 大学生のインターンシップでは、飼育員の指導のもと飼育業務や来園者へのガイド等、実践的な内容に取り組んでもらっています。	 大学生のインターンシップの様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)学校におけるキャリア教育の推進 多様な職業について理解を深め、地域社会の一員としての意識を育むため、基本的な感染症対策を継続しながら外部講師を招いた授業等を行いました。また、一人一台端末を活用したオンライン工場見学やインターネットによる調べ学習等、キャリア・パスポートを活用した系統的な指導に取り組みました。
	(2)職業体験機会の充実 おびひろキッズタウンは、子どもたちが職業体験や社会体験にチャレンジし、楽しみながら社会のしくみを考えることで、働くことの意味や楽しさ、お金の価値等を学ぶ機会を提供することを目的としていますが、令和4年度は感染症の影響により中止となりました。 図書館では、非対面型事業として「はたらく図書館員」の動画を制作しYouTubeチャンネルに公開しました。また、対面型事業として、小学生を対象にした「なりきり図書館員」の実施や職業体験、インターンシップや司書実習の受け入れ、職業インタビューを通じ、市役所や司書の仕事について理解を深める機会を提供しました。 百年記念館では、中高校生向けのインターンシップとして、博物館での仕事を体験する機会を提供しました。また、令和4年度は中高校生を対象にインターンシップの受け入れを再開しました。 動物園では、飼育体験等の講座実施のほか、大学生の博物館実習やインターンシップの受け入れ、小中義務教育学校からの依頼による職業調べや講話を通じ、飼育員や獣医師の仕事について理解を深める機会を提供しました。
課題及び 今後の方向性	(1)学校におけるキャリア教育の推進 「おびひろ市民学」において「キャリア・パスポート」の視点を取り入れた「おび学ファイル（ポートフォリオ）」を9年間継続して活用することで、系統的な学びの充実による社会的・職業的自立に向けたキャリア意識の向上が図られるよう、指導・助言を継続します。また、積極的にキャリア教育に取り組んでいる学校の事例について、学校間連携が図られるよう情報を共有します。
	(2)職業体験機会の充実 おびひろキッズタウンにおいては、関係課や参加企業と協力し、職業体験機会を提供します。 図書館においては、継続的にインターンシップや実習の受け入れ依頼があることから、体験者が希望する分野に沿った職業体験機会を提供します。 百年記念館においては、地域資料を収集する博物館としての特色を活かしたインターンシップを継続し、地域に根差した職業体験機会を提供します。 動物園においては、飼育体験等の事業におけるアンケートでの満足度が高いことから、今後も内容の充実に向けて取り組みます。

個別施策	1-3 情報教育の推進
めざす姿	子どもたちがインターネットに関する基本的なルールを理解し、情報通信機器を正しく活用しています。
施策担当課	学校地域連携課、学校教育指導課

成果指標の状況							
指標名	授業でコンピュータなどのICTを活用したいと思う子どもの割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	87.4	81.0	—	—			90.0 以上
中学校	73.8	79.0	—	—			80.0 以上
<成果指標の達成状況> ※全国学力・学習状況調査（文部科学省）における調査項目がなかったため、R4実績値はありません。							

令和4年度の主な取り組みの内容	
◆ICTを活用した学習活動 GIGA スクール構想により、児童生徒一人一人へ端末が一台配備されました。 情報化が加速度的に進む現代において、一人一台端末を日常的に授業において活用するとともに、端末の家庭への持ち帰りによる宿題の実施等を行い、子どもたちがICTを日常的に活用して学習活動の中で使いこなしていくようにしています。	 授業における一人一台端末の活用

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)情報活用能力の育成 各学校の教育課程編成において、「総合的な学習の時間」に情報を整理・比較し、発信・伝達する力を育成するため、一人一台端末等のICTを活用した学習活動に取り組みました。また、長期休業中における研修講座や、おびGIGA支援員派遣による校内研修により、教員のICTを活用した指導力の向上に取り組みました。
	(2)情報モラルの育成 各学校において、「特別活動」「道徳科」及び「総合的な学習の時間」で、情報モラルについての正しい知識を身に付けるため、著作権やプライバシーの保護等について理解を深める学習を進めるよう教育課程を編成しました。また、関係機関との連携による講演会の開催や販売店への立入調査などを実施し、インターネットの安全利用に関する啓発活動に取り組みました。
	(3)プログラミング教育の推進 コンピュータに意図した処理を行うよう指示するプログラム体験を発達の段階に応じて実施する等、プログラミング的思考やICTを活用するために必要な資質・能力の育成に取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1)情報活用能力の育成 一人一台端末の日常的な活用の充実に向けて取り組みます。また、実社会において情報がどのように活用されているか理解を深めるため、地元企業等と連携したICTを活用した教育を進めます。
	(2)情報モラルの育成 インターネットの利用に伴う危険性やフィルタリング機能の活用等について啓発に取り組むとともに、関係機関や事業者、家庭と連携して、情報モラルの育成を行います。また、関係機関と連携し、SNSの正しい利用やインターネットの安全利用に関する啓発活動に取り組めます。
	(3)プログラミング教育の推進 一人一台端末を活用したプログラミング教育を行う単位について、各学校が教育課程へ位置付けるとともに、中学校技術科において、企業による専門的な授業を開催します。

個別施策	1-4 国際理解教育の推進
めざす姿	子どもたちが世界の多様な文化に関心を持ち、外国の人と交流しようとする姿勢を身に付けています。
施策担当課	学校教育指導課

成果指標の状況							
指標名	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う子どもの割合(%)						
区分	基準値 【H29～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	66.3	—	—	—			75.0 以上
中学校	64.4	—	—	—			75.0 以上
<成果指標の達成状況> ※全国学力・学習状況調査(文部科学省)における調査項目がなかったため、R4実績値はありません。							

令和4年度の主な取り組みの内容
◆外国語指導講師(ALT)による授業 小学校外国語活動及び外国語科、中学校外国語科の指導の充実を図り、「読む・書く・聞く・話す」技能をバランスよく身に付けるために、外国語指導講師を全小中義務教育学校へ派遣し、学年段階のつながりを意識した系統的な指導をしました。また、外国語指導講師(ALT)の指導力向上のために、互いの授業を視察したり、教材等を共有したりする「ALT 研修 TIME」を実施しました。



ALT による授業の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)外国語を用いたコミュニケーション能力の育成 小学校段階から外国語に親しみ、「読む・書く・聞く・話す」技能をバランスよく身に付けるため、各学年段階のつながりを意識した系統的な指導を行いました。また、外国語指導講師（ALT）の指導力向上のために、「ALT 研修 TIME」を実施したほか、発達の段階に応じた指導計画を作成し、外国語指導講師や国際交流員等を効果的に活用し、生きた英語に触れる機会を提供するなど、体験的なコミュニケーション活動に取り組みました。
	(2)多様な国の伝統・文化に関する理解の促進 世界の中の日本人として自覚を持ち、世界の民族の多様な言語や文化の違いに気づくことのほか、それぞれの生活・習慣・価値観を理解し協調しながら他国を尊重する姿勢を育むために、外国語指導講師や市の国際交流員との交流等を通じて、多様な国の伝統・文化に触れる機会を提供しました。
課題及び 今後の方向性	(1)外国語を用いたコミュニケーション能力の育成 児童生徒の外国語によるコミュニケーション能力向上のため、小学校における外国語専科教員の配置や外国語指導講師を活用した授業に引き続き取り組むほか、今後も外国語指導講師の研修を行い、授業力の向上を図ります。また、外国語指導講師等との触れ合いを通して、外国語による児童生徒の実践的・日常的コミュニケーション能力の向上を進めます。
	(2)多様な国の伝統・文化に関する理解の促進 子どもたちが多様な国の伝統・文化に関する理解を深めることができるよう、長期休業期間等を通じ、外国語指導講師による外国語のサポート学習に取り組めます。さらに、森の交流館・十勝等、地域の施設や人材を積極的に活用し、体験的な活動を重視した国際理解教育の実践を進めます。

点検及び評価の結果	
個別施策	1-5 南商業高等学校における教育の推進
めざす姿	生徒たちが専門的な知識・技術を身に付け、地域で活躍する人材が育っています。
施策担当課	南商業高等学校

成果指標の状況							
指標名	地域貢献活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	26.7	15.7	16.6	17.6			50.0 以上
<成果指標の達成状況> R3と比較して 1.0 ポイント増加していますが、基準値を下回っています。感染症の影響により、学校行事等が縮小となり、ボランティア活動の機会が減少したことによるものと考えられます。							

令和4年度の主な取り組みの内容
◆南商業高等学校におけるキャリア教育の充実 即戦力となる人材育成のため、計画的・組織的・系統的な進路指導や資格取得の支援等を行っています。 1 年生では、本校卒業生から就労体験を聞く「先輩訪問」や進路学習を行い、進路実現への意欲を高めるとともに、今何をするべきかを考える機会としています。2 年生では、外部講師を招き、身だしなみや礼儀作法の指導を受けるマナー講習会を開催しました。3 年生では、5 月に面接基本指導、9 月には模擬面接指導など、進学や就職試験に向けた準備を行いました。



全商実務検定3冠以上
取得数全道一

項 目	内 容
取り組みの成果	(1)商業教育の充実 商業に関する実践的な知識・技術の定着と目標を持った学習に取り組んだ結果、卒業までに全国商業実務検定の1級を3種目以上取得した生徒の割合が全道で最多82.5%となりました。なお、感染症の流行のため姉妹都市マディソン市への留学生派遣は中止となりました。
	(2)地域経済に貢献する人材の育成 マナー講習会の開催、インターンシップ、各種の模擬試験の実施等に取り組んだ結果、前年に引き続き就職・進学ともに内定率100%を達成しました。
	(3)地域社会との連携・協働による教育の推進 学校評価を活用し、学校の運営状況や教育活動について改善を図る取り組みを進めました。また、学校・家庭・地域が協働しながら子どもの健全な育成を図るため、学校運営協議会を開催しました。
	(4)地域とつながる活動の推進 感染症の流行のため、地域住民に学習機会を提供する学校開放講座は中止となりました。また、学校全体でのボランティア活動も中止としました。
課題及び今後の方向性	(1)商業教育の充実 商業に関する実践的な知識・技術の定着と目標を持った学習を通じて、実践力を高める指導に取り組むとともに、多様な進路に対応した教育課程を編成します。また、国際理解教育については、マディソン市派遣研修実行委員会等と連携し、感染症対策を行いながら安全に交流できる体制を検討します。
	(2)地域経済に貢献する人材の育成 外部講師による講習会の開催のほか、進路指導や各種検定試験合格に向けた学習支援等により即戦力となる人材育成の充実に取り組みます。
	(3)地域社会との連携・協働による教育の推進 学校運営協議会から学校運営に対する意見をいただくほか、学校評価を活用するなどして、学校の運営状況や教育活動について今後も改善を図ります。
	(4)地域とつながる活動の推進 学校開放講座については、学校施設や人材の活用により地域住民に学習機会を提供できるよう、実施手法や内容を見直します。 生徒のボランティア活動については、基本的な感染症対策を継続しながら安全にボランティア活動に参加できるよう、主催者等と連携を図り取り組んでいきます。

基本施策2 変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成

個別施策	2-6 学びを生かす力の育成
めざす姿	子どもたちが意欲的に学び、課題の解決に粘り強く取り組んでいます。
施策担当課	学校教育指導課、教育研究所、図書館、児童会館

成果指標の状況							
指標名	授業において、課題の解決に向けて自ら考え取り組んでいると思う子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H30～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	75.8	71.7	74.8	76.1			85.0 以上
中学校	79.8	75.7	85.2	81.9			85.0 以上
＜成果指標の達成状況＞ R3と比較して小学校では 1.3 ポイント増加しており、目標値に向けて進捗しています。中学校ではR3と比較して3.3 ポイント減少したことから、各種学力調査の分析や帯広市教育委員会作成の教材活用を進める必要があると考えられます。							

令和4年度の主な取り組みの内容	
◆児童会館での科学実験・工作 児童会館では、科学実験を通じ、科学に対する興味関心を高めることを目的に宿泊学習での科学実験学習や親子科学実験教室などを実施しています。（生物・物理・化学・天文地学の4分野） また、親子おもしろ教室や宿泊学習、わくわく教室、冬まつりなどを通じて、親子で楽しみながらものづくりを体験する工作教室を実施しました。	 科学実験（生物）の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)学校における授業の工夫・改善 「主体的・対話的で深い学び」の視点を重視し、一人一台端末を活用した授業の推進により、個別最適な学びや協働的な学びを進めました。
	(2)学習活動の支援 教育研究所ホームページにおいて、常時ダウンロード可能な小中学生向け教材を掲載したほか、朝の読書や調べ学習等における「ぶっくーる便」の活用、放課後の学習会開催等の学びの機会を提供しました。また、学級閉鎖等により、登校ができない児童生徒の学びを保障するためオンライン学習等を実施しました。
	(3)教育課程の工夫・改善 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成及び実施を支援するため、「教育課程編成の手引き」を作成したほか、小中義務教育学校において、一貫性のある教育が実施されるよう、エリアを中心として小中連携を進めました。
	(4)学力の分析・検証 標準学力調査の分析結果をまとめた「帯広の子どもの学力」を全小中義務教育学校に配布することで、各学校で自校の学力分析・検証を行い、児童生徒の実態を把握して授業改善につなげ、学力の向上に寄与しました。
	(5)体験的・問題解決的学習の推進 学校での授業のほか、児童会館での科学実験・工作、図書館での講習会の開催等、科学や自然に対する興味・関心を高め、科学的なものの見方や考え方を養う体験学習を進めるとともに、関係機関と連携しオンラインを活用した施設見学を行いました。
課題及び 今後の方向性	(1)学校における授業の工夫・改善 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、一人一台端末をより主体的に活用する授業を通じ、「子ども」が主体となる授業実践を進めます。
	(2)学習活動の支援 一人一台端末で活用できる教材作りに引き続き取り組むほか、「ぶっくーる便」については、計画的な入替により子どもたちにとって魅力的な図書を提供します。また、不登校児童生徒への学びの保障等、オンラインを活用した学びの更なる充実を進めます。
	(3)教育課程の工夫・改善 目標の実現に必要な教育の内容等を横断的な視点で組み立てるカリキュラム・マネジメントの充実を図るとともに、全小中義務教育学校の適切な教育課程の編成と学習指導の改善に資するために「教育課程編成の手引き」の見直しを行います。
	(4)学力の分析・検証 子どもたちの学力の実態や標準学力調査の特徴を総合的に分析し、指導方法の改善につながる事項を明らかにし、学校に還元します。
	(5)体験的・問題解決的学習の推進 図書館や児童会館では、学校のニーズを踏まえながら各種の学習機会を提供します。

個別施策	2-7 豊かな人間性と創造性の育成
めざす姿	子どもたちが互いの価値観を尊重し、多様な人と協力し取り組んでいます。
施策担当課	学校教育課、学校教育指導課、生涯学習文化課、図書館、児童会館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	69.7	70.7	76.6	78.3			85.0 以上
中学校	71.1	79.5	78.7	81.7			85.0 以上
＜成果指標の達成状況＞ R3と比較して小学校では 1.7 ポイント増加し、中学校でも 3.0 ポイント増加しており、目標値に向けて進捗しています。各学校において、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた取り組みが進んだことによるものと考えられます。							

令和4年度の主な取り組みの内容	
◆ICT を活用したオンライン工場見学 帯広商工会議所や地元企業と連携し、食の興味・関心を育むため、ICT機器を活用して学校と製粉工場をオンラインで結び、給食のパンの原料となる小麦粉の製粉過程をリアルタイムで見学しました。オンライン見学では、市内の全小学校及び義務教育学校の3・4年生を対象に地元企業等で働く大人との関わりの中で学ぶ機会を提供しました。	 オンライン工場見学の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)道徳教育の充実 公開研究会等を活用した校内外における教職員向け研修の充実を図り、道徳科の授業改善を進めました。また、他教科との関連や評価の充実等による道徳科を要とした教育活動を展開し、子どもたちの道徳性を育む取り組みを進めました。
	(2)読書活動の推進 図書ボランティアによる読み聞かせ等のほか、学校図書館の図書整備や朝読書を通じた子どもたちの読書活動への興味関心の向上に取り組みました。また、多様な読書機会を確保するため、おはなし会の開催や、各種ブックリストの作成、電子書籍の利用促進を通じ、学校と図書館が連携した取り組みを行いました。
	(3)文化芸術活動の推進 子どもたちの感性や創造力を育むため、音楽・図画工作・美術・技術・家庭科の授業等において多様な文化芸術の体験的な学習活動を推進したほか、芸術文化に触れる機会を提供するため、子供向けの鑑賞事業を実施しました。また、各学校においてICTを活用し、学習発表会や文化祭を教室で観覧するなど、感染症対策を講じながら子どもたちの情操教育に取り組みました。
	(4)体験活動の推進 「おびひろ市民学」において、ICTを活用し工場見学をオンラインで実施するなど、空間的・時間的な工夫を通じて、子どもたちへ体験活動機会の提供に取り組みました。また、各種社会教育施設と連携しふれあい体験や科学体験、防災体験や文化芸術体験等、地域の特色を生かした体験活動を推進し、「児童生徒が触れて学ぶ」機会を提供しました。
課題及び 今後の方向性	(1)道徳教育の充実 引き続き、校内外における教職員向け研修の充実を図り、道徳科の授業改善を進めるほか、地域人材やゲストティーチャーの活用、他教科との関連や評価の充実等による道徳科を要とした教育活動を展開し、子どもたちの道徳性を豊かに育みます。
	(2)読書活動の推進 図書ボランティアや司書教諭及び関係部署との連携を図るほか、電子書籍の利用促進を通して読書活動の活性化に取り組みます。また、将来の担い手として、「語り手育成講習会」等により新規ボランティアを養成します。
	(3)文化芸術活動の推進 演劇鑑賞等の良質な文化芸術に触れる機会の提供を通じて、引き続き子どもたちの文化芸術活動の推進に取り組みます。また、感染症対策における経験を活かしながら、より効果的な各学校の学習発表会や文化祭の在り方を検討し、子どもたちの情操教育を進めます。
	(4)体験活動の推進 各種社会教育施設と連携し、魅力ある体験活動を今後も提供するとともに、感染症対策における経験を活かしながら、内容の見直しについて検討します。

個別施策	2-8 健やかな体の育成
めざす姿	子どもたちが運動に親しみ、心身ともに健康的な生活を送っています。
施策担当課	企画総務課、学校教育課、学校給食センター、学校教育指導課、図書館、スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	朝食を毎日食べている子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	94.0	91.0	92.1	91.7			100.0
中学校	93.6	94.0	92.9	91.1			100.0
<成果指標の達成状況> R3と比較して小学校では0.4ポイント、中学校では1.8ポイント減少しており、小中学校とも基準値を下回っています。食に関する啓発資料等の配布や、食育指導専門員等を各学校へ派遣し、給食指導の支援や食に関する指導が進んでいるものの、望ましい食生活習慣に係る家庭との連携が十分ではないことによるものと考えられます。							
指標名	1週間当たり60分以上運動・スポーツをする子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H26～H30 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	88.5	—	86.1	89.6			95.0以上
中学校	85.9	—	85.9	90.1			90.0以上
<成果指標の達成状況> R3と比較して小学校では3.5ポイント、中学校では4.2ポイント増加しており、目標に向かって進歩しています。調査結果をもとにした授業改善への取り組みが進んでいることによるものと考えられます。							

令和4年度の主な取り組みの内容	
◆食育の推進 食に関する正しい知識を取得し、自ら判断し健全な食生活を実施できる資質・能力を育むため、食育通信を配布しています。 食育通信を通じて、早寝早起きや朝ごはんを食べる事の大切さ、家庭で出来る食中毒予防や風邪に負けない体づくり等、健全な食生活に関する啓発を行いました。また、学校行事に関連した食に関する情報提供や、給食メニューのレシピ、季節の行事（七夕、十五夜、節分等）と食の関係、「ふるさと給食」に使用する地場産物や生産者の紹介等を行いました。	 「食育通信」

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)体力・運動能力の向上 各学校において、過去の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を検証し、授業への反映や生活習慣の見直しに取り組みました。
	(2)安全・安心な学校給食の提供 地元の農業関係者等と連携し、安全・安心な地場産食材を取り入れた給食の提供を行ったほか、アレルギーを持つ児童生徒が安心して給食時間を過ごせるよう、「学校給食食物アレルギー対応マニュアル」に基づく取り組みを行いました。
	(3)正しい「食」への理解の推進 「おびひろ市民学」における「帯広らしい食育プログラム」のもと、栄養教諭や食育指導専門員を各学校へ派遣し、給食指導の支援や食に関する指導を行ったほか、「朝食レシピコンテスト」を実施し、食に関する正しい知識の習得と望ましい食習慣の啓発を図りました。また、図書館常設の食文化コーナーにて月毎にテーマと図書を入れ替え、食に関する様々な図書を展示しました。
	(4)健康教育・健康保持 子どもたちの健康保持増進のため、各学校での学校保健委員会の開催等を通じた取り組みを働きかけたほか、学校の教育活動全体を通じて、がん教育や体育・健康に関する指導を行いました。また、基本的な感染症対策を継続しながら、子どもたちの学びの保障を確保するため、衛生用品の購入等による学校環境の整備を行いました。
課題及び 今後の方向性	(1)体力・運動能力の向上 体力向上推進プロジェクトチームによる研修会の開催及び各学校への大学教授等の専門的な指導を通じて、授業改善を図るとともに、子どもたちの体力・運動能力の分析・検証を進めます。
	(2)安全・安心な学校給食の提供 地場産食材の導入を進めるほか、適切な栄養バランスを考慮した学校給食の提供により児童生徒の健全な心身の発達を図ります。また、食物アレルギーを持つ児童生徒が増加傾向にあることから、アレルギーに関する正確な情報及び除去食の提供を行い、学校給食における事故防止に取り組みます。
	(3)正しい「食」への理解の推進 子どもたちが食事や栄養の摂り方等について、正しい知識に基づいて自ら判断し健全な食生活を実践できる資質・能力を育むため、「食育通信」等の資料の配布や、帯広市食育推進部会による児童生徒と家族が一緒に朝食作りに取り組むイベント、食育講演会を実施します。また、図書館では食育月間に合わせて、食をテーマにした映画会・おはなし会の開催を通じて、食への理解を促進します。
	(4)健康教育・健康保持 子どもたちが性に関する正しい知識を身に付け、心身の発達に関して理解を深め、自分や他者の価値を尊重し、相手を思いやる心を醸成できるよう、発達の段階に応じた教育を進めます。また、各学校において、基本的な感染症対策を継続しながら取り組み、学びの機会の確保を図ります。

個別施策	2-9 教員の資質・能力の向上
めざす姿	教員が子どもたちと向き合い、子どもたちの力を引き出す指導が行われています。
施策担当課	企画総務課、学校教育課、学校教育指導課、教育研究所、スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	授業の内容がよくわかると思う子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	82.6	83.1	84.8	83.8			90.0 以上
中学校	74.8	71.2	79.4	79.0			80.0 以上
＜成果指標の達成状況＞ R3と比較して小学校では 1.0 ポイント、中学校では 0.4 ポイント減少していますが、小中学校とも基準値を上回っています。指導主事による学校教育指導訪問、学校管理職や教職員の指導力や資質能力の更なる育成・向上を目指した研修等において、一人一台端末の効果的な活用等、今日的な教育課題について、積極的かつ具体的な協議を行う機会が不足していることによるものと考えられます。							

令和4年度の主な取り組みの内容	
◆校務支援システムの導入 学習指導・生徒指導の質の向上と教職員の業務効率化を図るため、児童生徒の成績や指導履歴の管理などに対応した校務支援システムを令和5年2月に導入しました。 令和4年度は導入時の説明会、基本機能、年度更新や養護機能など分野別の研修会を合計で 10 回実施しました。	 校務支援システム研修会の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)教員の指導力の向上 指導主事による学校教育指導訪問において、管理職や教職員に指導・助言を行ったほか、学力向上推進プロジェクトチームによる授業改善ワンポイント講座を実施しました。また、ICT の効果的な活用を一層促進するため、夏季・冬季研修講座において、Google 本社から講師を招いた研修の実施や、「おび GIGA 支援員」を各学校に派遣し、巡回支援を行いました。
	(2)教職員の働き方改革の推進 教職員の勤務状況の改善等に向けて、「帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン（第2期）」に基づき、各学校と連携した取り組みを実施した結果、教職員の時間外在校等時間は減少傾向にあります。また、教職員向けの研修については、負担軽減や感染症対策を踏まえ、オンラインの活用等により開催しました。また、令和5年2月より校務支援システムを導入し、操作等の研修会を開催しました。
課題及び 今後の方向性	(1)教員の指導力の向上 学力向上推進プロジェクトチームの会議等を通じて、小中義務教育学校の教職員が連携した授業改善に向けた取り組みの充実や、教員の資質能力や豊かな人間性と社会性の向上を進めます。また、教職員向けの研修については、受講率の向上を図るため、一人一台端末の活用や今日的な課題を取り上げる等、教職員の技能や指導力向上につながる講座の企画に取り組みます。
	(2)教職員の働き方改革の推進 「帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン（第2期）」に基づく取り組みを推進するほか、教職員の業務効率化のため導入した、校務支援システムの活用の促進や操作の定着を図るため、研修会等を実施します。また、教職員向けの研修については、基本的な感染症対策を継続しながら、オンラインの活用や対面方式での実施等、教職員の負担軽減に向けた体制づくりを進めます。

基本施策3 地域とともに育む教育の推進

個別施策	3-10 地域との連携・協働の推進
めざす姿	地域の人たちが子どもたちの教育に積極的にに関わり、健やかな成長を支えています。
施策担当課	学校地域連携課、学校教育指導課、生涯学習文化課

成果指標の状況							
指標名	地域の行事に参加している子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	58.2	50.4	47.8	46.3			70.0 以上
中学校	35.2	34.3	35.1	29.3			50.0 以上
＜成果指標の達成状況＞ R3と比較して小学校では1.5ポイント、中学校では5.8ポイント減少しており、小中学校とも基準値を下回っています。感染症の影響による地域の行事の中止等によるものと考えられます。							

令和4年度の主な取り組みの内容	
◆コミュニティ・スクール導入校の拡充 コミュニティ・スクールでは、保護者や地域の代表者で構成する学校運営協議会を設置し、校長が作成する学校運営の基本的な方針を承認するほか、地域でどのような子どもを育てていくのかを協議し、目標を共有した上で、学校・家庭・地域が協働しながら子どもの健全な育成を目指しています。 帯広市では、令和元年度より導入を開始し、令和4年度で市内全ての学校へのコミュニティ・スクール導入が完了しました。	 CS 研修会の様子
◆子どもの居場所づくり事業の実施 子どもの社会性や自主性を育むため、地域ボランティアやNPO法人が、放課後や休日に小学校の体育館などを活用し、異学年の友達や地域の人との交流など、様々な体験・活動ができる機会を提供しています。令和4年度は、実施回数422回、延べ5,335名の児童が参加しました。 また、ボランティアスタッフの募集のため、PR活動を行ったほか、ボランティア養成講座を開催し、指導技術等の向上に取り組みました。	 放課後子ども広場の様子 (七夕)

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)地域における支援体制の充実 コミュニティ・スクールを新たに12校で導入し、市内全ての学校への導入が完了したほか、リーフレットの作成・配布やコミュニティ・スクール通信の発行、指導主事の学校教育指導訪問時にコミュニティ・スクール導入による好事例の紹介等を行いました。また、学校・家庭・地域が一体となった活動の促進や人材育成のため、「帯広市学校・家庭・地域協働会議」における意見交換や学校運営協議会委員、地域ボランティア、地域コーディネーター向けの研修会を実施したほか、「こども学校応援地域基金」を活用して団体同士の連携した活動への支援を行いました。
	(2)子どもの安全対策の充実 登下校時の子どもの見守り活動を全小中義務教育学校で実施したほか、災害情報や不審者情報だけでなく、感染症に関わる情報提供を行うため、「帯広市子供安全ネットワーク」を活用した保護者への速やかな情報発信に取り組みました。また、庁内外の関係機関と連携して通学路危険個所の点検を行い、点検結果を公表し、安全対策について関係機関へ依頼したほか、登下校時に危険が迫った場合等に逃げ込む「子ども110番の家」の設置について協力を依頼しました。(令和4年度末現在996箇所)
	(3)地域主体の体験活動への支援 子どもの居場所づくり事業においては、基本的な感染症対策を継続しながら、異世代交流や多様な体験活動を通して、豊かな人間性や社会性の涵養^{かんよう}に取り組みました。青少年育成団体の活動においては、実施可能な事業について工夫して取り組み、子どもたちに体験活動機会を提供しました。
課題及び今後の方向性	(1)地域における支援体制の充実 学校・家庭・地域の連携・協働による「地域とともにある学校づくり」を進めるため、地域との熟議や協働による取り組みを進めるほか、指導主事による学校教育指導訪問時に、取り組み状況に応じた全国の好事例の情報提供を行います。また、学校と地域との連携した活動や地域コーディネーターの研修等に取り組むほか、こども学校応援地域基金を活用した支援を周知し、ボランティア団体同士が連携した活動のさらなる拡大を図ります。
	(2)子どもの安全対策の充実 活動団体の担い手確保を継続し、地域ぐるみで見守り活動に取り組むほか、保護者がいち早く災害情報や不審者情報を得られるよう、「帯広市子供安全ネットワーク」の周知を進めます。また、通学路の安全確保については、今後も担当部署や関係機関と情報の共有を図りながら、必要に応じて危険個所の合同点検を実施し対策を検討するほか、登録者の確保により「子ども110番の家」設置個所の拡充を図ります。
	(3)地域主体の体験活動への支援 子どもの居場所づくり事業は、事業を担うボランティア登録者数や実施回数及び参加児童数が感染症流行以前より減少しているため、実施方法やPR活動を工夫し事業を継続します。また、青少年育成団体の各事業においては、関係団体と協力し、引き続き魅力ある体験活動機会の提供を進めます。

個別施策	3-11 家庭教育への支援
めざす姿	各家庭において、子どもたちが規則正しい生活習慣や社会的なマナーを身につける教育が行われています。
施策担当課	学校給食センター、学校教育指導課、生涯学習文化課、図書館

成果指標の状況							
指標名	家の人と学校での出来事について話をする子どもの割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	77.8	73.2	—	—			85.0 以上
中学校	76.6	77.8	—	—			85.0 以上
＜成果指標の達成状況＞ ※全国学力・学習状況調査(文部科学省)における調査項目がなかったため、R4実績値はありません。							

令和4年度の主な取り組みの内容	
◆PTA 情報交換会の推進 各学校のPTA役員が集まり、学校と家庭が連携して子どもたちの健やかな成長を育み、PTA との連携の促進を進めるために、2回の情報交換を行いました。 また、帯広市校長会や帯広市教育委員会との情報交換会を行い、日頃のPTA 活動について情報共有を行いました。 情報交換会では、各校の活動状況の報告や、改革を行った5つの学校による導入事例の発表が行われました。	 PTA 情報交換会の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)教育相談の充実 こころの教室相談員及び家庭訪問相談員を配置し、子どもたちの進路や学業不振、友人関係のほか、いじめや不登校等の子どもの教育に関する悩みについての相談に対応しました。
	(2)家庭教育力向上のための支援 学校においては、子どもたちの基本的な生活習慣の確立に向けて、起床や食事の摂取状況を家庭において記録するためのシートを配布し、家庭への助言を行いました。また、家庭に向けては「食育通信」の配布等を通じて、児童生徒の家庭における食に関する正しい知識の習得と望ましい食習慣の啓発を図りました。そのほか、妊娠期からのおはなし会への参加の呼びかけや、乳幼児健診におけるブックリストの配布により、保護者への啓発活動を進めたほか、家庭における日常的な読書習慣の確立を目的に「家読」に取り組みました。
	(3)PTA との連携の促進 学校と家庭が連携して子どもたちの健やかな成長を育むため、各学校のPTA 間において情報交換を行いました。また、帯広市PTA 連合会への補助金の支出やPTA による各種事業の後援等、PTA 活動への支援を行いました。
課題及び 今後の方向性	(1)教育相談の充実 教育相談員体制のさらなる充実と、より有効な教育相談員の活用を図るため、配置日数の調整等の工夫を進めるとともに、相談員会議等を通して研修を深め、相談業務の充実を図ります。
	(2)家庭教育力向上のための支援 学校においては、子どもたちの基本的な生活習慣の確立に向けて、「おびひろ市民学」を中核として消費者教育・人権教育等様々な視点から啓発を進めます。また、家庭に向けて、図書館における絵本セットの内容の充実に取り組み、子育て世帯への支援を進めます。そのほか、ライフスタイルの変化による児童生徒の食生活の乱れを改善するため、「食育通信」の配布等を通じて食育を進めます。
	(3)PTA との連携の促進 家庭における教育力を高めるため、各校のPTA や帯広市PTA 連合会等との情報交換を進めるほか、関係団体への行政支援を継続し連携強化に取り組みます。

個別施策	3-12 学びと育ちをつなぐ学校づくりの推進
めざす姿	学校間の連携により、子どもの個性を理解し尊重した指導が継続的に行われています。
施策担当課	学校地域連携課、学校教育指導課

成果指標の状況							
指標名	小・中学校9年間を見通した授業を行っている学校の割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	19.2	19.2	19.2	32.0			100.0
中学校	21.4	21.4	14.3	30.8			100.0

＜成果指標の達成状況＞

R3と比較して小学校では 12.8 ポイント、中学校では 16.5 ポイント増加しており、目標値に向けて進捗しています。小中学校において、ICTを活用した授業交流や教職員による協議等を行うなど教育課程の編成を進めたことによるものと考えられます。

令和4年度の主な取り組みの内容
◆小中一貫教育の推進 帯広市では、「帯広市小中一貫教育推進基本方針」に基づき、義務教育9年間を見通した教育課程を編成し、小中学校の接続を意識した学習活動を進めています。 小中義務教育学校に学力向上部会、体力向上部会、生徒指導部会を位置付け、中学校区内で各部会において、小中義務教育学校で目指す子ども像の実現に向けての共通した目標設定や連携方法について協議し、実施しています。



部会による協議

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)学校間の連携の推進 「帯広市エリア・ファミリー構想」に基づき、幼稚園・保育所・認定こども園、小学校、中学校において、それぞれ行われている教育への理解を深めるため、職員間交流を通じた情報共有を行ったほか、学びのつながりを意識した教育課程の編成を進めました。また、「帯広市小中一貫教育推進基本方針」に基づき、義務教育9年間を見通した教育課程を編成し、小中学校の接続を意識した学習指導を進めました。
	(2)通学区域の見直しの実施 通学区域が宅地の造成等に合わせた適正な設定とされているか確認を行ったほか、「帯広市小中学校適正規模の確保等に関する計画」に基づく取り組みと併せて、通学区域の見直しについて検討を行いました。
課題及び 今後の方向性	(1)学校間の連携の推進 小中一貫教育の更なる充実に向け、教育課程の見直し及び編成を進めます。また、幼保・小・中における教育実践への相互理解を深められるよう、各エリア内における授業交流や乗り入れ授業を行うとともに、学校の教員による部会を設定し、教育実践の交流や教育課題の共有を図るなど、より詳細な情報共有や学校種間の連携強化を進めます。
	(2)通学区域の見直しの実施 小中義務教育学校の連携や地域ぐるみの教育を一層推進するため、学校の適正規模の確保に関する取り組みと合わせ、通学距離、幹線道路、河川等の地理的条件や地域コミュニティとの整合性、一つの小学校から複数の中学校に分かれる分散進学の解消等に配慮し、通学区域の見直しを進めます。

基本施策4 安全・安心な教育環境の整備

個別施策	4-13 誰もが安心して学べる教育の推進
めざす姿	障害の有無や家庭の経済状況等に関わらず、誰もが安心して学んでいます。
施策担当課	企画総務課、学校地域連携課、学校教育課、学校教育指導課、教育研究所

成果指標の状況							
指標名	「いじめは絶対に許されない」と考える児童生徒の割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	96.2	97.5	96.4	96.8			100.0
中学校	94.2	96.8	96.2	96.7			100.0
<成果指標の達成状況> R3と比較して小学校では0.4ポイント、中学校では0.5ポイント増加しており、小中学校とも基準値を上回っています。特別の教科道徳を要とした各校における道徳教育の充実や、いじめ・不登校・非行等に関する対策委員会等による啓発活動によるものと考えられます。							

令和4年度の主な取り組みの内容	
◆適応指導教室の運営 適応指導教室「ひろびろ」には、18名が在籍しており、指導員2名が中心となり教育相談を行うとともに、基本的な生活習慣や学習等について指導・助言を行い、児童生徒自らが立てた計画に沿って学習活動を行っています。また、グループで各種体験的学習及び体育・文化活動を行う中で、心を解放するとともに、対人関係を広げ、適応を促すよう指導員が指導・助言を行っています。	 適応指導教室「ひろびろ」の様子
◆特別支援教育の充実 「特別支援教育」とは、特別な配慮を要する児童生徒に対し適切な支援や教育を行うことです。 児童生徒の成長に合った適切な就学を図るため、特別支援教育の専門家で構成された帯広市教育支援委員会において、就学先を決定するための教育相談を、令和4年度は459件実施しました。 また、介助が必要な児童生徒のために31人の生活介助員を配置するとともに、発達障害などの理由により、学校生活に困り感を抱える児童生徒を支援するため、68人の特別支援教育補助員を配置しました。	 特別支援学級での授業の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)いじめ・非行の防止 道徳科の学習を要として、子どもたちがいじめや人権について皆で考え、議論する場を設け、意識向上に取り組んだほか、いじめ・不登校・非行等に関する対策委員会等による啓発活動を行いました。また、地域の指導協力員と街頭巡回指導等を通じた非行防止活動を実施しました。
	(2)不登校への対応 不登校傾向の子どもに対して、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、こころの教室相談員、家庭訪問相談員等と連携し、子どもや保護者からの相談対応や助言等を行いました。また、子どもの自立や学校生活への復帰を支援するため、適応指導教室の運営、教育相談、個別学習や一人一台端末を活用したオンライン授業等に取り組みました。
	(3)教育機会の確保 経済的な理由により児童生徒の就学が困難な保護者へ就学援助費を支給したほか、奨学資金の貸与を通じて、大学等への就学を支援しました。また、農村地域で遠距離通学となる児童生徒への支援としてスクールバスを運行しました。そのほか、市内高等学校の間口確保のため、「公立高等学校配置計画地域別検討協議会」に出席し、情報収集を行いました。
	(4)一人一人に応じた教育の充実 個別の指導計画及び教育支援計画の作成、関係機関・保護者との情報共有や特別支援教育に係る教員の知識・技能の習得を進めたほか、LGBT等の当事者を招いた研修の実施、特別支援学級の設置やアイヌ子弟の遠隔地での就学支援のための扶助費支給等により、支援や配慮が必要な子どもたちの学びの環境整備に取り組みました。また、豊かな自然環境の中で特色ある教育活動を行う農村地域の小規模校に就学できる特認校制度の運用を進めました。
課題及び今後の方向性	(1)いじめ・非行の防止 いじめの未然防止や就学に対する支援等、誰もが安心して学ぶことができる環境の整備を進めるほか、街頭巡回指導等や非行防止活動に取り組みます。
	(2)不登校への対応 家庭や児童生徒の悩みの複雑化、原因の多様化が見られるため、教育相談員の専門性の向上を図る研修の実施や相談体制の充実、関係機関との連携強化を進めます。また、一人一人の社会的自立を支援できるよう、適応指導教室「ひろびろ」から教育支援センター「ひろびろ」へ名称を変更します。
	(3)教育機会の確保 他地域の事例を参考にしながら就学や通学に関わる経済的な支援を行います。また、スクールバスの安定的な運用のため、車両更新や運転手の確保について検討するほか、市内高等学校の間口を維持・確保するため、会議等の機会を通して、情報収集や要望活動を行います。
	(4)一人一人に応じた教育の充実 障害や学習において困り感を抱えた子どもたちが、一人一人の特性や状況にあった環境で教育を受けられるよう、教育相談体制の確保と関係機関との連携強化を図るとともに、特別支援学級の継続設置や通級指導教室の開設等により、多様な学びの場の整備を進めます。また、教職員向けの研修により、今日的な課題であるLGBT等やHSC（Highly Sensitive Child）、ヤングケアラー、障害のある児童などへの理解促進の取り組みを進めます。

個別施策	4-14 安全で充実した教育環境の整備
めざす姿	安全で機能的な学校施設の整備など、良好な教育環境のもとで、子どもたちが充実した学校生活を送っています。
施策担当課	企画総務課、学校地域連携課、学校教育課、南商業高等学校

成果指標の状況							
指標名	長寿命化改修の実施校数（校）						
区分	基準値 【H30】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	0	0	1	1			9
＜成果指標の達成状況＞ R3 と同数値であり、目標値に向けて進捗していません。R4 は長寿命化改修に向けた基本調査を行いました。改修工事の対象校がなかったことによるものです。							

令和4年度の主な取り組みの内容	
◆総合実践室の情報機器の整備・更新 南商業高等学校において、簿記・情報処理などの授業で学んだ知識を生かし、会社の経営を想定した取引や、会計処理等、企業ニーズに応じた実践力を養う「総合実践」の授業に使用する情報処理機器の更新を行いました。 併せてOAフロアの修繕を行いました。	 更新した総合実践室情報処理機器
◆大空学園義務教育学校の整備 「帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画」及び「帯広市立大空中学校適正規模の確保等に関する実施計画」に基づき、大空小・中学校を統合した施設一体型義務教育学校の整備を令和2年から令和3年にかけて実施し、令和4年4月1日より大空学園義務教育学校として開校しました。 また、1年生から9年生が使用できるよう、鉄棒や雲梯の設置を含めたグラウンドの改修工事を行いました。	 整備したグラウンド

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1) 学校施設の整備 小中学校においては、煙突用断熱材除去（小学校2校）、ボイラー改修（中学校1校）、校舎屋根葺替工事（中学校1校）、校内無線LAN追加整備（小中学校計13校）、多目的室等網戸整備（小中計601校）のほか、個別改修を行いました。また、大空学園義務教育学校のグラウンド整備、南町中学校の整備に向けた基本調査を行いました。南商業高等学校においては、エレベーターの更新、図書室等に網戸を設置、多目的ホール排煙オペレーター等を修繕しました。
	(2) 学習環境の整備 学校ICTヘルプデスクを通じて、小中義務教育学校に配置した児童生徒の一人一台端末などの維持管理を行いました。また、南商業高等学校においては、総合実践室情報処理機器を更新しました。
	(3) 学校適正規模確保の推進 「帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画」及び「帯広市立大空中学校確保等に関する実施計画」に基づき、大空小学校及び大空中学校を統合し、令和4年4月1日より大空学園義務教育学校を開校しました。
課題及び 今後の方向性	(1) 学校施設の整備 「帯広市学校施設長寿命化計画」に基づき、計画的かつ継続的な修繕を行い、学校施設の長寿命化及び機能・性能の改善に取り組みます。
	(2) 学習環境の整備 小中義務教育学校においては、児童生徒が主体的に学び、自ら問題を発見し解決できる力の育成を図るため、学校生活等における一人一台端末の活用範囲の拡大を進めます。また、南商業高等学校においては、簿記、情報処理等の商業に関する専門教育の実施や高度な資格取得のため、情報機器等の環境整備を進めます。
	(3) 学校適正規模確保の推進 児童生徒数及び学級数を毎年度推計し、結果について市民へ情報提供します。また、小中学校適正規模の確保については、学校の小規模化による影響の緩和を図る取り組みを進めます。

(2) 基本目標 生涯にわたり学び 活躍できる人づくり

基本施策5 自ら学びともに支える生涯学習の推進

個別施策	5-15 学習活動の促進
めざす姿	誰もが生涯にわたり、目的やライフステージに応じた学びを続けています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、児童会館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	講座の満足度 (%)						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	95.5	96.9	93.5	90.8			100.0
<成果指標の達成状況> R3と比較して2.7ポイント減少しており目標値に向けて進捗していません。専門的かつ複雑性の高い講座の開催により、評価が分かれたものと考えられます。							

令和4年度の主な取り組みの内容	
◆依田勉三・晩成社に関する特別企画展の開催 百年記念館では令和4年8月13日から9月19日にかけて特別企画展「晩成社」展を実施しました。展示では、実物の資料と最新の研究成果を紹介し、帯広・十勝の開拓の先駆者である晩成社や依田勉三についてあらためて触れ、幅広い世代に対して郷土について考え、振り返る機会を提供しました。	 特別企画展の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)学習機会や情報の提供 市民大学講座では、基本的な感染症対策を継続しながら36講座開催し、延べ1,817人の参加がありました。また、生涯学習情報誌「まなびや」及び小学生向けの「まなびや特別号」の発行を行い、生涯学習活動やイベントの情報提供を行いました。 図書館では、社会教育施設と連携し、子ども向け講演会やプラネタリウムおはなし会を開催しました。 百年記念館では、基本的な感染症対策を継続しながら手法の改善を図り、博物館講座や郷土学習見学会を開催しました。 動物園では、SNSを活用して積極的に情報発信を行ったほか、飼育体験や裏側探検隊などの講座等を実施しました。
課題及び今後の方向性	(1)学習機会や情報の提供 市民大学講座については、市民ニーズを踏まえた講座テーマの設定、オンライン配信や開催時間の工夫、わかりやすい情報発信などにより、市民が参加しやすい学習機会を提供するほか、生涯学習情報誌「まなびや」により、情報提供を行います。 図書館においては、社会教育施設に限らず他機関との連携の輪を広げ、幅広い分野に拡大し、厚みのある事業に取り組みます。 百年記念館においては、市民が参加しやすい工夫を事業運営に活かしながら、博物館ならではの講座の開催、展示の企画に取り組みます。 動物園においては、講座の定員に対して応募者数が多いことやアンケートでの満足度が高いことから、今後も内容の充実を進めます。

個別施策	5-16 学習を通じたまちづくり
めざす姿	学習を通じて身に付けた知識や経験をまちづくりなどに生かしています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	学習成果をまちづくり、地域づくりなどに生かしたいと思う市民の割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	26.3	21.5	25.4	26.2			31.0 以上
＜成果指標の達成状況＞ 基準値を0.1ポイント下回ったものの、着実に割合が増加しており、目標値に向けて進捗しています。基本的な感染症対策を行った上で、工夫を図りながら事業を再展開したことで、市民の自主的な活動が増加していることによるものと考えられます。							

令和4年度の主な取り組みの内容	
◆「語り手育成講習会」の開催 図書館では、平成14年度より、学校や地域で読み聞かせの読み手として活動したい人を、読書ボランティアとして育成することを目的に「語り手育成講習会」を開催しています。 令和4年度は、入門編・ステップアップ編と習熟度別に講習会を開催し、より実践的な技術を学び、コロナ禍において徐々に再開している学校や地域での読み聞かせ活動に繋げる機会を提供しました。	 語り手育成講習会 ステップアップ編の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)自主的な学習活動の支援 図書館では、読み聞かせの技術向上のための「語り手育成講習会」を開催したほか、令和4年11月に創立20周年を迎えた帯広図書館友の会に対し、記念おはなし会や記念誌発行に際しての相談やアドバイスを行い、相互連携し記念事業を実施しました。 百年記念館では、資料整理をはじめとした、博物館での活動において得た知識や経験をもとに、ボランティアの自主性を促しながら高齢者学級等で出前のレコードコンサートを企画・開催しました。 動物園では、学生ボランティアとの連携を図り、来園者と動物とのふれあいのサポート等、活動の場を提供しました。 生涯学習推進委員会では、規模の見直しや基本的な感染症対策を継続しながら「コミュニティ講座」を開催し、地域の生涯学習活動の関心や意欲の向上、地域住民間の交流機会の活性化に取り組みました。
	(2)地域の人材の育成・活用 生涯学習指導者登録制度のもと、教養・文化・スポーツ等の様々な分野において個々の能力を発揮して活躍する人物を指導者として登録したほか、地域における生涯学習活動の支援のために情報を提供しました。
課題及び今後の方向性	(1)自主的な学習活動の支援 図書館においては、ボランティアと情報交換を図りながら、知識技術の向上や活動に対する相談やアドバイスを行い、相互連携を進めるとともに、活動を支援します。 百年記念館においては、ボランティアの知識向上のために研修会等、学習機会の確保を進め、学習で得た知識を活かした新たな活動の場を提供していくほか、ボランティア活動を行う人員の充実に向けて取り組みます。 動物園においては、今後も学生等の活動主体が積極的に活動できるよう支援します。 地域の生涯学習活動においては、基本的な感染症対策を継続しながら、生涯学習推進委員会等の社会教育団体が地域で行う多様な活動の支援に取り組みます。
	(2)地域の人材の育成・活用 生涯学習指導者登録制度の認知度を高め、利活用を図るため、市ホームページやSNSを効果的に活用しながら情報発信の強化を図り、登録者数の確保に取り組みます。

個別施策	5-17 社会教育施設の整備・管理運営
めざす姿	社会教育施設が積極的に活用され、多様な学習活動が行われています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、児童会館、百年記念館、動物園

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	96.5	97.3	92.3	91.0			100
＜成果指標の達成状況＞ R3と比較して1.3ポイント減少しており、目標値に向けて進捗していません。経年に伴う施設の老朽化により、更新が必要な設備の改善が求められているものと考えられます。							

令和4年度の主な取り組みの内容	
◆動物園のキリン舎外放飼場柵の設置 令和2年9月に単頭飼育が続いていた雄キリンとの繁殖を目的として、多摩動物公園からフリーディングローンにより雌キリンを導入しました。 令和4年6月にキリンの子が生まれ、今後の適切な頭数管理や個体同士の闘争による事故を防ぐことなどを目的として、現在の外放飼場柵内を仕切る柵を設置しました。 ※フリーディングローン （公社）日本動物園水族館協会（JAZA）加盟動物園同士で行う種の保存を目的とした動物の貸し借りのこと	 柵設置後のキリン展示の様子
◆移動図書館の取り組み 移動図書館は、地域住民の身近に図書を届けるため、移動図書館バス「ナウマン号」に3,500冊積載し、地域に設置しているステーションを巡回しています。 また、コミュニティセンター等図書室にも図書を配本、定期的な入れ替えを行い、図書館に来ることが困難な市民の利便性向上を図りました。	 移動図書館バス「ナウマン号」

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)計画的な施設整備の実施 とかちプラザでは、汚水ポンプ更新修繕、外壁改修実施設計委託を実施しました。図書館では、中央監視装置修繕やエレベーター仕様変更工事等を実施しました。百年記念館では、照明制御装置改修更新工事等を実施しました。児童会館では、非常用自家発電設備更新工事等を実施しました。動物園では、「動物園の魅力アップ方針」に基づき、老朽化した園路整備のほか、馬ふれあい舎の実施設計及び新キリン舎の実施設計に着手しました。
	(2)適切な管理運営の推進 とかちプラザでは、コロナ禍で中止していた事業についても、新しい生活様式に則った方法で開催する等、創意工夫を凝らしながら学習機会を提供しました。図書館では、基本的な感染症対策を継続しながら図書資料の貸出・返却を実施し、読書機会を提供しました。児童会館では、木育推進事業として新たな木製遊具を導入し、「木のおもちゃランド」を開設しました。百年記念館では、利用場所毎に細かく人数制限を設けながら、学習機会を提供しました。動物園においては、感染対策を講じながら一日飼育係やおび Zoo 探検隊等の講座を実施しました。
課題及び 今後の方向性	(1)計画的な施設整備の実施 多くの社会教育施設では、施設本体や設備、備品の老朽化が進んでいることから、施設の老朽度や利用実態、維持管理コスト等を踏まえ、「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化等を通じて、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組みます。
	(2)適切な管理運営の推進 とかちプラザにおいては、指定管理者による適切な管理運営と利用者サービスの向上に取り組みます。図書館においては、適切な管理運営と図書館サービスの向上に取り組みます。児童会館においては、科学展示室の展示やプラネタリウム投影、各種イベントやクラブを開催していくほか、学びと遊びの機能の充実に取り組みます。百年記念館においては、利用者ニーズを念頭に置き、利便性の向上を図るほか、効果的・効率的に管理運営を進めます。動物園においては、地域に根差した魅力ある動物園と感じられるよう、講座等の学習機会の提供やレクリエーション機能の充実に取り組みます。

基本施策6 人が輝く文化芸術活動の推進

個別施策	6-18 文化芸術の「つくる・みる・ささえる」人の協働
めざす姿	文化芸術活動を通じて、心の豊かさや生きがい、人とのつながりが生まれています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、百年記念館

成果指標の状況							
指標名	直近1年間に文化芸術の鑑賞活動を行ったことがある市民の割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	64.7	45.1	43.4	48.6			65.0以上
＜成果指標の達成状況＞ R3と比較して5.2ポイント増加しているものの、目標値に達していません。感染症対策による市民の外出自粛傾向から回復の途上にあったことや、鑑賞スタイルが自宅での活動へシフトした影響によるものと考えられます。							

令和4年度の主な取り組みの内容	
◆第5回帯広市民バレエの開催 文化団体等が行う自主的な活動を支援し、市民の主体的な文化芸術活動を促進する取り組みを行っています。 令和4年度は、バレエダンサー、オーケストラのほか、企画、運営、公演に多くの文化団体・市民が参画し、第5回帯広市民バレエ「眠れる森の美女」が開催されました。 多くの市民によって創り上げられた公演を 1,206 人の方に鑑賞いただきました。	 第5回帯広市民バレエ

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)市民文化芸術活動の促進 市民主体の文化芸術活動を支援するため、日頃の活動成果を発表する「市民芸術祭」や、地元在住の若手芸術家にスポットを当てた展覧会「北の構図展」のほか、地元アーティストの作品を一堂に展示・発表する「十勝の大地を生きるアーティスト展」を開催しました。また、積極的に創作活動に励む子どもたちが、将来「市民文藝」への応募に続くよう、とまちジュニア文芸第13号と市民文藝第62号を発刊しました。このほか、市民の文化芸術活動を支援するため、学校施設の開放事業を行いました。
	(2)文化活動団体の活動支援・指導者育成 市民が芸術文化活動に参加しやすい環境やきっかけづくりのため、ホームページ等を活用し、文化団体の情報提供を行いました。また、文化活動を行う人材・団体の育成のため、文化活動功労賞に、優秀な文化芸術活動を行う1団体を表彰したほか、文化活動への支援として事業補助・大会派遣補助を行いました。
	(3)文化芸術の鑑賞機会の提供 基本的な感染症対策を継続しながら、さまざまなジャンルの鑑賞事業を実施することで、市民に良質な文化芸術鑑賞機会を提供しました。また、北海道立帯広美術館の特別企画展「銀の匙 silver spoon 展」に参画し、市民が身近に芸術・文化に親しめる環境づくりに取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1)市民文化芸術活動の促進 市民の主体的な文化芸術活動を促進するため、市民に発表の機会や交流の場を提供する事業を継続するほか、子どもたちの創作意欲をさらに高め、読解力・表現力の向上を図るため、「とまちジュニア文芸文章教室」を開催します。そのほか、市民の文化芸術活動を支援するため、今後も学校施設の開放事業を行います。
	(2)文化活動団体の活動支援・指導者育成 文化活動促進のツールのひとつとして文化団体等の活動情報提供を継続するほか、文化活動を行う個人・団体の顕彰や支援を行います。
	(3)文化芸術の鑑賞機会の提供 市民の文化芸術への関心を高めるため、基本的な感染症対策を継続しながら、鑑賞者アンケート等を踏まえた事業を実施し、市民が良質な文化芸術を直接鑑賞する機会の提供に取り組みます。また、市民が身近に芸術・文化に親しめる機会を提供するため、北海道立帯広美術館の特別企画展へ参画します。

個別施策	6-19 文化資源の継承・活用
めざす姿	歴史、伝統、文化への理解を通じて、ふるさとへの誇りと愛着を持っています。
施策担当課	百年記念館

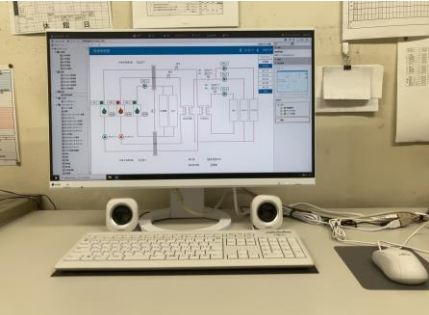
成果指標の状況							
指標名	市ホームページの文化資源紹介ページの年間総アクセス数（件）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	2,161	1,728	1,638	2,021			2,269 以上
<成果指標の達成状況> R3 と比較して 383 件増加しており、基準値は下回っているものの、目標値に向けて進捗しています。新たな市指定文化財の指定や、感染症の流行が下火になった影響などが要因と考えられます。							

令和4年度の主な取り組みの内容	
◆アイヌ伝統文化の取り組み 帯広カムイトウウポポ保存会の伝承活動を支援するため、補助を行いました。 伝統的生活空間（イオル）再生事業として、帯広競馬場において古式舞踊の披露を行ったほか、緑ヶ丘公園内での植物観察会やとかちプラザでの料理体験交流会などの市民を対象とした伝統文化にかかる体験講座を実施し、計 27 人が参加しました。	 アイヌの料理体験交流会の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)文化財等の調査・保存・活用 十勝鉄道蒸気機関車・客車の保守点検委託等による文化財の管理、及び史跡標示板の修繕を行ったほか、文化財や史跡を紹介するリーフレットを製作しました。また、埋蔵文化財センターを中心に開発行為と埋蔵文化財保護の調整を行ったほか、重要文化財「八千代 A 遺跡出土品」を活用した学校用教材の作成に取り組みました。文化財を活用する事業としては、ぶらり帯広・文化財めぐり及び十勝鉄道蒸気機関車 4 号及び客車コハ 23 号の公開を行いました。
	(2)アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及 「帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助金」により活動の補助を行ったほか、伝統的生活空間（イオル）再生事業として古式舞踊の披露や植物観察会等の講座を実施しました。
	(3)市史資料収集・保存 令和 3 年度の出来事をまとめた「年史報告書」を作成しました。また、収集事業資料の公開事業として古文書の連続講座を実施しました。
課題及び 今後の方向性	(1)文化財等の調査・保存・活用 今後も文化財の適切な管理や、必要性に応じた史跡標示板の修繕を行います。また、文化財を活用する事業を継続して実施していくほか、「八千代 A 遺跡出土品」を適切に保存し積極的に活用するため、専門業者による修理・美装化を実施できるよう、計画的に取り組みます。
	(2)アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及 帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助、及び伝統的生活空間再生事業を継続し、アイヌ伝統文化の保存・伝承団体への支援に取り組みます。
	(3)市史資料収集・保存 「年史報告書」を作成に取り組むとともに、令和 14 年度に迎える帯広市開拓 150 年・市制施行 100 年を見据えて、資料収集事業に取り組みます。

個別施策	6-20 文化施設の整備・管理運営
めざす姿	市民が文化施設に魅力を感じ、積極的に活用しています。
施策担当課	生涯学習文化課、百年記念館

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（％）						
区分	基準値 【H26～H30 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	83.0	84.3	87.6	97.0			88.0 以上
<成果指標の達成状況> R3より9.4 ポイント増加し、目標値を達成しています。R4 のアンケートから、「普通」の回答を削除したため、ポイントが急増していますが、計画的な修繕や利用者の声を反映し、施設サービスの改善を進めたことなどが評価されたものと考えられます。							

令和4年度の主な取り組みの内容	
◆市民文化ホールの改修 市民文化ホールは、市民の文化芸術活動の発表や鑑賞の拠点施設として、多くの市民に利用されており、施設の特徴を踏まえながら、安全性や緊急性を考慮し、長寿命化等に向けた計画的かつ効率的な修繕・更新を進めていく必要があります。令和4年度は、施設の空調等の各種設備を一括で管理する中央監視装置の更新等を実施し、施設の機能維持を目的とした整備を進めました。	 中央監視装置の更新を実施

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)計画的な施設整備の実施 利用者の安全性を確保するとともに施設の機能を発揮するため、市民文化ホールの中央監視装置の更新等を実施したほか、施設の機能維持を目的とした整備を行いました。
	(2)適切な管理運営の推進 市民文化ホールでは、基本的な感染症対策を継続しながら、安心して利用できる環境づくりに取り組んだ結果、利用者は前年度より89,220人増加しました。また、指定管理者による利用者ニーズを意識した適切な管理運営により、施設利用者の高い満足度が得られています。そのほか、市直営施設では、利用者ニーズを捉え、委託管理により利便性の向上を図りながら、効果的・効率的な管理運営に取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1)計画的な施設整備の実施 文化施設においては、大半の施設で供用開始から30年以上が経過し、施設本体や設備、備品の老朽化が進んでいることから、施設の老朽度や利用実態、維持管理コスト等を踏まえ、「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組みます。
	(2)適切な管理運営の推進 感染症の影響により大幅に減少した、施設利用者数や使用料・利用料金収入は回復傾向にありますが、引き続き、適切な管理運営と利用者サービスの向上に取り組みます。

基本施策7 笑顔をつなげるスポーツ活動の推進

個別施策	7-21 多様なスポーツ活動の促進
めざす姿	誰もが、「する・みる・ささえる」など多様な形で、スポーツに親しんでいます。
施策担当課	スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	市内小学生数における帯広市スポーツ少年団登録者数の割合（％）						
区分	基準値 【H27～R1 平均】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	21.0	18.1	17.6	16.5			22.0 以上
＜成果指標の達成状況＞ R3と比較して1.1ポイント減少しており、目標値に向けて進捗していません。感染症流行の長期化等に伴いスポーツ活動の規模が依然として縮小しており、少年団の活動に影響が出たことによるものと考えられます。							

令和4年度の主な取り組みの内容
◆ほっとドリームプロジェクト 地元の資源である「スケート力」を有効に活用するために、地元の応援体制や裾野の拡大、競技者の育成に系統的に取り組み、スケート資源の循環を図っています。 令和4年度は、少年団や中高生のほか、幼児や初心者、保護者、指導者を対象とした教室を開催し、延べ1,961人が参加しました。



スケート教室の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1) スポーツの振興 スポーツ振興及び更なる競技力の向上を図るため、競技大会への選手等の派遣支援等を行いました。また、スポーツの普及・振興に貢献のあった人を顕彰するため、スポーツ賞において2個人・1団体、スポーツ奨励賞において5個人・5団体を表彰しました。そのほか、各種全国・全道大会等の誘致や開催支援、合宿・プロスポーツ等の誘致を通して市民への観戦機会を提供しました。
	(2) スポーツ団体の支援・指導者人材の育成 スポーツ少年団本部及び競技団体である帯広市スポーツ協会への支援を実施したほか、スポーツ少年団指導者育成の支援を行いました。
	(3) スケート競技の振興 スピードスケート競技の裾野拡大を目的とした「ほっとドリームプロジェクト」を実施し、競技者育成及び地域応援体制の整備を行ったほか、明治北海道十勝オーバルの十勝管内小学校への授業開放を通して、地域のスポーツ文化であるスケートの普及振興に取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1) スポーツの振興 競技大会への選手等の派遣支援を通して、競技スポーツ活動を支援するほか、スポーツ賞、スポーツ奨励賞の実施や市民へのスポーツ観戦機会の提供により、スポーツ振興を進めます。
	(2) スポーツ団体の支援・指導者人材の育成 安全確保に関する研修の実施などを通して、指導者の資質向上に取り組み、少年団へ安心して加入できる環境づくりに取り組みます。
	(3) スケート競技の振興 スピードスケートをはじめとした地域における各種競技スポーツを普及し、競技者人口の拡大や競技力の向上に取り組むほか、各種大会等の開催支援を行います。また、スピードスケート教室に対する地域の需要が高いことから、「ほっとドリームプロジェクト」や、明治北海道十勝オーバルの十勝管内小学校への授業開放を通して、スケート競技の普及促進に取り組みます。

個別施策	7-22 スポーツによる活力のあるまちづくり
めざす姿	誰もが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツで集い、まちの賑わいづくりにつながっています。
施策担当課	スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	1年間のうち、する、みる、ささえることでスポーツに関わった市民の割合（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	82.4	82.0	90.1	95.9			87.0 以上

＜成果指標の達成状況＞
R3と比較して5.8ポイント増加し、目標値を達成しています。基本的な感染症対策を継続しながら、市内における各種全国・全道大会、プロスポーツの試合等の一部再開などにより、人々のスポーツへの関心が高まったことによるものと考えられます。

令和4年度の主な取り組みの内容	
◆スポーツフェスティバルの開催 10月の体育の日をメインに、市民が気軽にスポーツ活動を行うきっかけづくりとして、競技団体による初心者向け講習会・大会の実施や体育施設・学校プールの無料開放を行っています。 令和4年度は、18種目を実施し、2,411人が参加しました。	 実施種目（ラジオ体操）の様子
◆フードバレーとかちマラソン大会の開催 平成24年度に帯広市開拓130年市制施行80年の記念事業として第1回大会を開催、令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりスマートフォンアプリを活用したオンライン開催となりましたが、令和4年度の第11回大会は3年ぶりに実地開催が復活し、4,497人がエントリーしました。	 第11回大会の様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1) 地域スポーツの振興 スポーツ推進委員が中心となって実施する各種スポーツ教室を 48 回開催し、延べ 1,276 人が参加しました。また、地域住民が自ら企画・運営する 6 つの総合型地域スポーツクラブの運営支援を行いました。そのほか、市民が身近な場所で気軽にスポーツに親しみ、交流が深められるよう学校施設の開放を実施しました。
	(2) スポーツ大会合宿等誘致 競技団体との連携により、日本クラブユースサッカー選手権（U-15）大会をはじめとする各種全国・全道大会等の誘致及び開催支援のほか、プロスポーツ等の誘致を実施しました。また、フットバレーとかちマラソン大会は、3 年ぶりに実地開催し、4,497 人がエントリーしました。
課題及び 今後の方向性	(1) 地域スポーツの振興 スポーツ教室の開催などを通じて、より多くの市民がスポーツに親しみ、楽しむことのできる機会づくりに取り組みます。学校施設のスポーツ開放については、市民へのスポーツ活動の場を提供するため、利用しやすい環境づくりと情報発信を行います。
	(2) スポーツ大会合宿等誘致 スポーツ合宿の誘致については、各競技団体と連携を図り、支援体制等ニーズを把握しながら受入体制の整備を進めます。

個別施策	7-23 スポーツ施設の整備・管理運営
めざす姿	スポーツ大会の開催をはじめ健康増進や仲間づくりなど、多くの人々がスポーツ施設を活用しています。
施策担当課	スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	施設利用者の満足度（％）						
区分	基準値 【R1】	実績値					目標値 (R11)
		R2	R3	R4	R5	R6	
—	77.3	82.7	80.4	93.9			82.0 以上
<成果指標の達成状況> R3と比較して 13.5 ポイント増加し、目標値を達成しています。実績値の基としているアンケートの回答項目をR4から見直し、R3まで設定していた「どちらでもない」という回答項目をなくした結果、肯定的回答が増えたものと考えます。							

令和4年度の主な取り組みの内容
◆帯広の森市民プールの改修 帯広の森市民プールでは、プールサイドの床面が経年劣化により剥がれてきている状況があり、毎年12月の休館期間に工事を完了させるため、床面を3ブロックに分けて1年毎に1ブロックずつ工事をを行い、段階的にプールサイド床面を更新しています。 令和4年度は第2期の工事を完了しました。



第2期工事後のプールの様子

点検及び評価の結果	
項 目	内 容
取り組みの成果	(1)計画的な施設整備の実施 利用者の安全性を確保するとともに施設の機能を発揮するため、明治北海道十勝オーバル中央監視装置システム改修工事、帯広の森陸上競技場観客席躯体改修工事、帯広の森市民プールプールサイド床改修工事（2期）を実施しました。
	(2)適切な管理運営の推進 スポーツ施設においては、多様化する利用者ニーズに効果的・効率的に対応するため、民間活力を生かした指定管理者制度を導入しています。また、パークゴルフ場においては、指定管理者制度に加え、地域住民や団体の協力を得ながら市民協働による管理運営に取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1)計画的な施設整備の実施 スポーツ施設の多くが供用開始から30年以上経過し、施設本体や設備、備品の老朽化が進んでいることから、施設の老朽度や利用実態、維持管理コスト等を踏まえ、「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組みます。
	(2)適切な管理運営の推進 多様化していく利用者ニーズに効果的・効率的に対応するため、指定管理者制度、及び地域住民や団体の協力による管理運営に取り組みます。

4 教育に関する学識経験者の意見

帯広北高等学校 理事 奥 野 淳 一

(帯広北高等学校 元校長)

帯広市教育基本計画(令和2年度～令和11年度)の3年目である令和4年度の取り組みの成果と課題・今後の方向性を点検・評価された内容・結果については、適切であると判断するとともに、項目ごとの課題及び今後の方向性についても、的確であると考えます。

ここ数年間、「感染症対策」に悩まされ、困難な状況の中、教育現場のみならず教育行政関係者・保護者はじめ地域全体で目標値に向けた取り組みがなされていたことに敬意を表するとともに、この間に得られた多くの知見を、今後の施策推進に生かしていただきたいと考えます。

「情報教育の推進」においては、児童生徒のICTを活用した学習のほか、教員向けの研修を通して、日常的な活用の充実に向けた取り組みが進められていることを評価します。反面、SNS等でのトラブルや犯罪に児童生徒が巻き込まれることがないよう、引き続き、情報モラルへの理解を深める学習や啓発活動に力を注いでいただきたいと考えます。

「南商業高等学校における教育の推進」においては、商業に関する実践的な知識・技術をもった生徒の育成に取り組んだ結果、進学・就職ともに内定率100%を達成されていることを高く評価します。引き続き、社会情勢が大きく変化する時代においても、専門的な知識や技術を身に付け、地域で活躍する人材育成の充実に取り組まれることを期待します。

「健やかな体の育成」においては、『朝食を毎日食べている子供の割合』が令和3年度比で小・中学校ともに減少していることから、何故、食べないのか、食べることが出来ないのか、家庭状況や児童生徒の実情の把握を通じて、今後の食育に生かしていく必要があると考えます。

「地域との連携・協働の推進」においては、令和4年度で市内すべての学校にコミュニティ・スクールが導入されたことは大きな成果であると考えます。今後は、コミュニティ・スクールによる具体的効果や成果・変化を検証しながら、学校・家庭・地域が一体となった取り組みをさらに進めていただくことを期待します。

「誰もが安心して学べる教育の推進」においては、子どもたちや家庭が抱える問題が複雑多様化する中において、教育相談や就学援助を通じて各家庭に寄り添った支援をしていることを評価します。また、社会問題となっているいじめや不登校などへの対応については、引き続き、教職員及び関係機関において真摯に取り組まれることを望みます。

「社会教育施設の整備・管理運営」においては、各施設において創意工夫した活動がなされ、利用者の学習機会の充実に大いに貢献しているものと評価します。一方で、施設の老朽化がすすんでいることから、計画的な改修や設備更新を継続されるとともに、施設の魅力向上に一層努められることを期待します。

帯広市教育基本計画の基本理念を念頭に、それぞれの施策のさらなる推進を期待します。

帯広市社会教育委員 副委員長 久保田 博己

帯広市教育基本計画(令和2年度～令和11年度)の3年目にあたる令和4年度の取り組みについては、コロナ禍により生活や活動を制限されたなかで、一部、前年度を下回る項目もありましたが、多くの項目で目標値に向けて進捗しており、適切であると判断します。

(1) 基本目標「夢の実現に向けて自立し 互いに支え合う人づくり」

基本施策1「帯広の明日を拓く力の育成」の「ふるさと教育の推進」では、「おびひろ市民学」において、小中学校9年間を通して系統的に学び、地域社会の一員としての意識を育む教育を推進していることを評価します。「職業観の育成」では、外部講師の招聘や、一人一台端末を活用したオンラインでの工場見学、調べ学習を通じ、キャリア意識の向上が一層進むことを期待します。「情報教育の推進」では、情報モラルへの理解を深める学習や啓発を通じて、SNSの正しい利用やインターネットの安全利用に関する啓発活動について取り組んでいく必要があると考えます。

基本施策2「変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成」の「学びを生かす力の育成」では、中学校において前年度と比べ成果指標上の実績値が減少していることから、個別最適な学びの推進を図り、学力調査の分析を通じて、個に合わせた能動的な探究心を育む必要があると考えます。「豊かな人間性と創造性の育成」では、子どもたちの道徳心を育むため、地域人材やゲストティーチャーなどを活用した取り組みの継続に期待します。「健やかな体の育成」では、朝食の大切さを伝えていくとともに、食料自給率が高い十勝ならではの食育を続けていくことが必要であると考えます。

基本施策3「地域とともに育む教育の推進」の「地域との連携・協働の推進」では、コミュニティ・スクールが令和4年度をもって市内すべての学校で導入されたことで、学校、家庭、地域で子どもを見守り、育てていく体制が整いました。今後は、子どもの居場所づくりの取り組みがより活性化することを期待します。「家庭教育への支援」では、各学校のPTAとの連携強化を図りながら、いじめ・不登校等の子どもたちの悩みに寄り添う相談体制を継続するとともに、教育相談員の拡充を進め、相談しやすい環境の充実に取り組まれるほか、情報発信を強化し『気軽に相談できる』ことを広く周知いただけることを望みます。

基本施策4「安全・安心な教育環境の整備」の「誰もが安心して学べる教育の推進」では、LGBT等や、HSC、ヤングケアラーなどへの理解を深める取り組みが一層推進されることを期待します。

(2) 基本目標「生涯にわたり学び 活躍できる人づくり」

基本施策5「自ら学びともに支える生涯学習の推進」の「学習活動の促進」では、市民ニーズを踏まえた講座テーマの設定や各施設との連携・協力のもと、多くの方が参加できるような情報提供に期待します。

基本施策6「人が輝く文化芸術活動の推進」の「文化芸術の「つくる・みる・ささえる」人の協働」では、継続して良質な文化芸術を鑑賞できる機会を提供するとともに、多様な文化芸術活動の推進に取り組まれることを期待します。

基本施策7「笑顔をつなげるスポーツ活動の推進」の「スポーツによる活力のあるまちづくり」では、全国・全道大会の誘致及び開催支援、プロスポーツなどの誘致の取り組みを継続するとともに、市民がスポーツしやすい環境づくりと、効果的な情報発信にも引き続き取り組まれることを期待します。

今後も、「夢の実現に向けて自立し 互いに支え合う人づくり」「生涯にわたり学び 活躍できる人づくり」の基本目標に向けて着実な施策の推進を期待します。

参 考 資 料

○ 令和4年度教育行政執行方針(抜粋)

1. 基本的な考え方

学校教育においては、学習指導要領を踏まえ、子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、一人ひとりが自分のよさや可能性を認識し、多様な人々と協働しながら豊かな人生を切り拓く力を育む教育を推進してまいります。

生涯学習においては、人生100年時代の到来を見据え、市民のライフステージに応じた学びの機会を提供し、自らの人生を充実させるとともに、学びにより習得した知識や経験を地域活動で生かすことができるよう、市民の自主的な活動の支援に引き続き取り組んでまいります。

また、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、教育分野においても「新たな日常」への対応を進め、学習・文化・スポーツ活動などの機会を提供してまいります。

2. 主な取り組み

(1) 夢の実現に向けて自立し 互いに支え合う人づくり

小中学校の教育課程については、本年4月に開校した「大空学園義務教育学校」における特色ある教育活動の推進のほか、各エリア・ファミリーの実態に応じた小中一貫教育の充実を図り、義務教育9年間を通した連続的・系統的な教育を進めてまいります。

また、「ふるさと帯広」に対する誇りや愛着を育み、地域社会の一員としてよりよい地域づくりに参画しようとする意識を高めるため、引き続き、「おびひろ市民学」の着実な実施に取り組むほか、コミュニティ・スクールの導入校の拡充を進め、学校・家庭・地域が目指す子ども像を共有し、連携・協働した活動を推進してまいります。

さらには、GIGAスクール構想の推進により整備したICTの効果的な活用により、児童生徒の可能性を最大限に引き出すことを目指すとともに、企業や専門家などと連携した多彩な授業づくりを進めてまいります。

施設整備については、引き続き、老朽化への対応や、長寿命化改修等を進め、教育環境の充実に努めてまいります。

学校給食については、子どもたちに、ふるさとへの愛着と誇りを持ってもらえる「おびひろのおいしい給食」の提供を目指し、魅力やこだわりの情報発信、食の専門家と連携したメニュー開発のほか、自然の恵みや給食に関わる全ての人に対する感謝の気持ちを育む食育活動を推進してまいります。

帯広南商業高等学校については、十勝管内唯一の商業教育専門高校として身に付けた専門的な知識、技能を生かして活躍できる人材を育成してまいります。

(2) 生涯にわたり学び 活躍できる人づくり

生涯学習の推進については、百年記念館で依田勉三・晩成社に関する特別企画展の開催などを通じ、ふるさとの歴史を振り返り、愛着を深める各種事業を開催してまいります。

動物園の魅力アップに向けては、十勝・帯広の開拓における歴史的なシンボルでもあるばん馬を展示し、地域に根ざした学習機会を提供するため、馬ふれあい舎の整備に取り組んでまいります。

文化芸術活動の推進については、第5回帯広市民バレエや、「十勝の大地を生きるアーティスト」の開催など、市民主体の文化芸術活動への支援や、優れた文化芸術に触れる機会を提供してまいります。

スポーツ活動の推進については、フードバレーとかちマラソンや帯広市スポーツフェスティバルの開催などを通じ、市民が気軽にスポーツや健康づくりに親しむ機会を提供してまいります。

社会教育、文化、スポーツ施設については、安心・快適に利用いただけるよう、長期的な視点を持ち、計画的な施設の改修・長寿命化に取り組んでまいります。

また、青少年の自然体験施設として利用に供してきた岩内自然の村は、民間による利活用に向けた具体的作業を進めてまいります。

○ 令和4年度予算決算

資料 2

(単位：円)

科 目	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	主な内容
教育費	6,399,948,147	6,094,339,690	55,776,000	249,832,457	
教育総務費	315,685,000	290,210,559	0	25,474,441	
教育委員会費	4,844,000	4,761,610	0	82,390	教育委員報酬及び会議等の出席に係る旅費等
事務局費	142,705,000	126,793,481	0	15,911,519	事務局運営費、教職員管理費、奨学金貸付事業、学生支援給付金事業等
地域連携費	99,010,000	92,809,411	0	6,200,589	学校運営協議会運営費、子どもの居場所づくり事業費、こども学校応援地域事業費等
指導研修費	26,848,000	25,850,533	0	997,467	教育相談員・外国人講師に係る報酬等
教育研究所費	17,169,000	16,482,617	0	686,383	所員報酬、教育研究所運営費等
教職員住宅費	25,109,000	23,512,907	0	1,596,093	教職員住宅の修理費、教職員住宅の建設工事費等
小学校費	1,230,754,272	1,122,513,531	29,250,000	78,990,741	
学校管理費	835,194,000	751,255,140	29,250,000	54,688,860	小学校管理費、プール・リンク造成・維持管理費、学校保健事業費、スクールバス運行事業費等
学校営繕費	51,073,360	50,326,844	0	746,516	学校営繕費
教育振興費	258,003,000	244,276,051	0	13,726,949	教材教具購入費、就学援助費、学校図書資料整備費、教育用コンピュータ管理費等
施設整備費	86,483,912	76,655,496	0	9,828,416	学校・学習環境整備費、リニューアル改修事業費
中学校費	745,241,788	691,438,009	17,550,000	36,253,779	
学校管理費	379,874,000	340,966,334	17,550,000	21,357,666	中学校管理費、リンク造成・維持管理費、学校保健事業費、スクールバス運行事業費等
学校営繕費	32,686,330	32,568,060	0	118,270	学校営繕費
教育振興費	193,223,000	185,134,692	0	8,088,308	教材教具購入費、就学援助費、学校図書資料整備費、教育用コンピュータ管理費等
施設整備費	139,458,458	132,768,923	0	6,689,535	学校・学習環境整備費、リニューアル改修事業費、大空学園整備費
高等学校費	103,228,000	86,264,885	2,250,000	14,713,115	
学校管理費	57,024,000	50,012,723	2,250,000	4,761,277	南商管理費、学校保健事業費、国際理解教育推進事業費等
学校営繕費	2,567,000	2,558,865	0	8,135	南商営繕費
教育振興費	25,614,000	19,106,197	0	6,507,803	教材教具購入費、学習環境管理費、キャリア教育推進費
施設整備費	18,023,000	14,587,100	0	3,435,900	学校環境整備費

科 目	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	主な内容
社会教育費	1,311,856,960	1,268,782,816	6,726,000	36,348,144	
社会教育総務費	10,173,000	8,046,320	0	2,126,680	社会教育委員等報酬、講座開催経費等
文化振興費	27,037,000	25,588,613	0	1,448,387	文化団体等補助金、事業開催負担金、文化財経費等
とまちプラザ費	216,629,960	212,908,041	0	3,721,919	とまちプラザ管理費、施設修繕等
市民文化ホール費	197,044,000	193,067,583	0	3,976,417	市民文化ホール管理運営費、施設修繕等
百年記念館費	74,087,000	68,676,354	0	5,410,646	百年記念館管理運営費、施設修繕等
図書館費	177,998,000	171,547,153	0	6,450,847	図書館管理運営費、図書資料等整備費、図書館資料デジタル化事業費等
児童会館費	81,092,000	78,420,432	0	2,671,568	児童会館管理運営費、野草園管理運営費、行事・実習関連経費等
農業体験実習館費	9,633,000	9,305,735	0	327,265	農業体験実習館管理運営費
動物園費	489,249,000	472,604,458	6,726,000	9,918,542	動物園管理運営費、学習機会提供費、施設整備費等
市民ギャラリー費	28,914,000	28,618,127	0	295,873	市民ギャラリー管理費
保健体育費	2,693,182,127	2,635,129,890	0	58,052,237	
保健体育総務費	56,342,000	51,006,335	0	5,335,665	スポーツ行事・活動関係経費、団体育成・大会開催費、学校開放経費、指導者育成経費等
体育施設費	1,613,415,200	1,582,890,334	0	30,524,866	社会体育施設管理運営費、施設修繕・改修費等
学校給食センター費	1,023,424,927	1,001,233,221	0	22,191,706	学校給食センター管理費、賄材料費、委託料、学校給食食育推進費等

※翌年度繰越額は、繰越明許費

○ 令和4年度における主な取り組み一覧

(1) 帯広の明日を拓く力の育成

① ふるさと教育の推進

主な取り組み	内訳・実績
地域資源を活用したふるさと理解の促進	9年間を通した「おびひろ市民学」の実施、郷土体験学習（小学4年生対象）、児童会館科学展示室（入場者 26,590人）、埋蔵文化財センターの活動、アイヌ民族文化情報センター「リウカ」の活動、小学生のための動物園塾（1回、11人）、おびZoo寺子屋（5回、94人）、ほっとドリームプロジェクト（延べ1,961人参加）
食を通じたふるさと理解の促進	「ふるさと給食」の実施、ふるさと農園の実施（啓北小・光南小・清川小）、「おびひろ市民学」による「帯広らしい食育プログラム」の実施
地域社会に参画する意識の醸成	地域子ども会リーダー研修会（17人）、ジュニアリーダー養成講座「あすかの会」（6人）、ジュニアリーダー“あるふあ”の会（23人）、社会科及び総合的な学習の時間を活用した調べ学習、防災教室の実施（全小中義務教育学校）
環境教育の推進	帯広らしい環境教育プログラム集のホームページへの掲載、児童会館科学展示室（入場者 26,590人）、児童会館での科学教室・工作教室等（13,765人）、花王国際こども環境絵画コンテスト入賞作品展示（4,600人）、自然観察会（27人）、自然系出前講座（18回）

② 職業観の育成

主な取り組み	内訳・実績
学校におけるキャリア教育の推進	インターネットを活用した調べ学習
職業体験機会の充実	小学生の1日飼育係（2回、15人）、1日飼育係（5回、18人）、親子で飼育体験（3回、22人）、学校での講話、職業調べに対する協力、なりきり図書館員（1回、20人）、帯広市図書館 YouTube チャンネル「はたらく図書館員」動画投稿

③ 情報教育の推進

主な取り組み	内訳・実績
情報活用能力の育成	夏期研修講座における教職員向け研修
情報モラルの育成	帯広市ネット非行対策講演会（令和4年11月4日）、携帯電話販売店の立入調査（24店）、各校で外部講師等を活用した情報教室の開催
プログラミング教育の推進	発達の段階に応じたプログラム体験

④ 国際理解教育の推進

主な取り組み	内訳・実績
外国語を用いたコミュニケーション能力の育成	外国語指導講師（ALT）を全小中義務教育学校に派遣
多様な国の伝統・文化に関する理解の促進	国際交流員や JICA 職員の学校訪問

⑤ 南商業高等学校における教育の推進

主な取り組み	内訳・実績
商業教育の充実	外国人英語指導助手配置（1 人）
地域経済に貢献する人材の育成	インターンシップ事業（協力事業者 37 事業者）
地域社会との連携・協働による教育の推進	学校運営協議会の開催
地域とつながる活動の推進	学校ホームページによる情報発信

（２） 変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成

⑥ 学びを生かす力の育成

主な取り組み	内訳・実績
学校における授業の工夫・改善	「主体的・対話的で深い学び」の視点を重視した授業、ICTを活用した授業
学習活動の支援	長期休業期間や放課後の時間を活用した学習会の開催、データベース教材の作成（漢字習熟確認ボード、算数ブロック他）、ぶっくーる便（705 件・24,675 冊）
教育課程の工夫・改善	教育課程編成の手引きの作成、小中学校における一貫性のある教育課程、標準学力調査、研究紀要「帯広の子どもの学力」発行
学力の分析・検証	特筆項目なし
体験的・問題解決的学習の推進	観察・実験などの体験学習の推進、【畜大連携事業】自由研究応援事業（3 回、36 人）、児童会館での宿泊学習等（2,699 人）、プラネタリウム上映（入場者 13,263 人）

⑦ 豊かな人間性と創造性の育成

主な取り組み	内訳・実績
道徳教育の充実	学校指導訪問での指導・助言、公開研究会の実施
読書活動の推進	学校図書館の図書資料の整備（1,490冊）、司書教諭の配置（29校、29人）、学校図書運営委員会への補助（39者）、図書ボランティアとの連携、おはなし会（72回、1,473人）、キミヘノチカラシリーズブックリスト発行（2回）
文化芸術活動の推進	文化系大会派遣支援事業（吹奏楽3校、合唱1校）全道大会派遣補助の実施、芸術鑑賞事業の取組、幼児向けプチコンサート（66人）、第33回親と子のわくわく音楽会（340人）、帯広市小中学生のための札幌コンサート（1,212人）
体験活動の推進	乗り物利用学習等の体験活動の実施、児童会館科学展示室（入場者26,590人）、児童会館での体験活動（科学教室・工作教室等13,765人、文化関連事業6,108人）、野草園の利用者（園外関連行事含め18,113人）、百年記念館での体験教室（37人）、夏休み親子陶芸教室（3回、95人）、冬休み親子陶芸教室（3回、86人）、親子七宝教室（2回、37人）、小学生の1日飼育係（2回、15人）、1日飼育係（5回、18人）、親子で飼育体験（3回、22人）、ふれあい教室（68組、2,023人）

⑧ 健やかな体の育成

主な取り組み	内訳・実績
体力・運動能力の向上	冬季活動機会提供事業（十勝子ども雪上ばんば、18チーム86人）、体育系大会派遣支援事業（全道134名、全国75名）、各大会派遣補助の実施 帯広市体力・運動能力の調査分析、スポーツ少年団本部への支援（少年団数69団体、登録者数1,331人）、スポーツ少年団指導者数（328人）、ほっとドリームプロジェクト（延べ1,961人参加）
安全・安心な学校給食の提供	地場産食材の導入促進、アレルギー対応の実施（199人）
正しい「食」への理解の推進	「食育通信」の配布、食育推進会議を開催し食育推進部会でリーフレット等の作成、「おびひろ市民学」において各校に食育指導専門員を派遣し「帯広らしい食育プログラム」の実施、食関連図書展示「おいしい本みつけた！」
健康教育・健康保持	がん教育等健康に関する出前講座の開催、男女共同参画に関わっての資料配付

⑨ 教員の資質・能力の向上

主な取り組み	内訳・実績
教員の指導力の向上	指導主事による学校教育指導における指導・助言、教員リーダー育成講座（4回）、パソコン研修講座（214回）、帯広市教育研究会事業補助、ほっとドリームプロジェクト（延べ1,961人参加）
教職員の働き方改革の推進	校務支援システムの導入、「帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン（第2期）」に基づく学校と連携した取り組みの実施

（３） 地域とともに育む教育の推進

⑩ 地域との連携・協働の推進

主な取り組み	内訳・実績
地域における支援体制の充実	コミュニティ・スクールの拡充（学校評議員配置校 小7校、中5校）による全小中義務教育学校への導入完了（39校34協議会）、帯広市コミュニティ・スクール通信の発行（3回）、リーフレットの作成・配布、学校支援地域本部の運営（14本部39校） こども学校応援地域交付金の交付（10団体）、指導主事による学校教育指導におけるコミュニティ・スクール推進に係る指導・助言
子どもの安全対策の充実	子どもの見守り活動実施（全小中義務教育学校）、子ども110番の家設置登録（996件）、通学路安全対策連絡協議会の開催（2回）、通学路危険箇所合同点検（11箇所）、帯広市子供安全ネットワークの活用
地域主体の体験活動への支援	放課後子ども広場の実施（25校、延べ422回、延べ5,335人）、帯広市生涯学習推進委員協議会として帯広市学校・家庭・地域協働会議に出席（2回）

⑪ 家庭教育への支援

主な取り組み	内訳・実績
教育相談の充実	家庭訪問相談員等の教育相談員の配置
家庭教育力向上のための支援	「食育通信」の配布、起床や食事の摂取状況を家庭において記録するためシートを配布、家庭教育学級（7学級、69人）、わくわく♪ドキドキ!!家読（うちどく）にチャレンジ！（1回、62人）
P T Aとの連携の促進	学校とPTAの間で情報交換、帯広市PTA連合会への補助

⑫ 学びと育ちをつなぐ学校づくりの推進

主な取り組み	内訳・実績
学校間の連携の推進	帯広市幼保小中連携推進委員会の設置、帯広市エリア・ファミリー構想の推進（市内全 14 エリアで協議の場を設置）、幼保小中連携エリア実践交流会
通学区域の見直しの実施	小規模校における近隣校との交流授業の実施

（４） 安全・安心な教育環境の整備

⑬ 誰もが安心して学べる教育の推進

主な取り組み	内訳・実績
いじめ・非行の防止	街頭巡回活動（392 回）、声かけ指導人数（505 人）、道徳などの教科を通じて、いじめや人権について考え議論する取り組み
不登校への対応	家庭訪問相談員等による相談業務と学校指導適応教室の運営
教育機会の確保	就学援助認定（小 1,240 人、中 745 人）、奨学資金貸付（奨学金：16 人、入学支度金：8 人）、障害者高等教育補助（102 人）
一人ひとりに応じた教育の充実	就学に関する教育相談の実施（459 件）、特別支援教育助手の配置（7 人）、特別支援教育補助員の配置（68 人）、生活介助員の配置（31 人）、特別支援学級の運営、小規模特認校就学（児童 2 人）、特別支援学級在籍児童生徒の個別の指導計画及び支援計画を作成

⑭ 安全で充実した教育環境の整備

主な取り組み	内訳・実績
学校施設の整備	煙突用断熱材除去（小学校 2 校）、ボイラー改修（中学校 1 校）、校舎屋根葺替工事（中学校 1 校）、校内無線 LAN 追加整備（小中学校計 13 校）、多目的室等網戸整備（小中計 601 校）、大空学園義務教育学校のグラウンド整備、南町中学校の整備に向けた基本調査、ほか個別改修の実施 エレベーター更新・図書室等網戸設置・多目的ホール排煙オペレーター修繕（帯広南商業高等学校）
学習環境の整備	教育用パソコンの活用（1,433 台）、総合実践室情報処理機器の更新（帯広南商業高等学校）
学校適正規模確保の推進	小規模校における近隣校との交流会授業の実施

(5) 自ら学びともに支える生涯学習の推進

⑮ 学習活動の促進

主な取り組み	内訳・実績
学習機会や情報の提供	市民大学講座(36 講座、受講者 1,817 人)、生涯学習情報誌(情報誌「まなびや」成人向け 4 回、小学生向け 2 回)、地域の学習情報・指導者情報のホームページでの提供、放送大学帯広学習室の設置(利用者 9 人)、【社会教育施設連携事業】子ども向けプチ講演会「絵本に出てくる虫のおはなし」(1 回、13 人)、「キラキラおはなし会」(1 回、32 人)、電子図書館の運営(貸出冊数 125,984 冊)、自然観察会(27 人)、博物館講座(439 人)、連続講座(139 人)、百年記念館での体験教室(37 人)、企画展(7,586 人)、収蔵作品展(1,287 人)、レファレンス、親子で挑戦! 動物園のミステリークイズ(2 回、51 人)、幼児・児童動物画写生コンクール(120 人)、おびZoo寺子屋(5 回、94 人)、夜Zoo探検隊・おびZoo探検隊(6 回 189 人)、スポットガイド(随時)、小学生の1日飼育係(2 回、15 人)、1日飼育係(5 回、18 人)、親子で飼育体験(3 回、22 人)、ふれあい教室 68 組、2,023 人)、SNS による情報発信

⑯ 学習を通じたまちづくり

主な取り組み	内訳・実績
自主的な学習活動の支援	コミュニティ講座(7,622 人)、語り手育成講習会(2 回、32 人)、レコードコンサート(3 回)
地域の人材の育成・活用	学生の社会参加(26 日実施、参加者数 16 人)、令和 5 年 20 歳の集い(990 人)、生涯学習コーディネーターの支援、地域の指導者の登録者数(181 人)、学生によるボランティア活動の機会提供・取り組みへの支援、帯広畜産大学との共同研究の実施、帯広畜産大学との連携講座の実施(1 回、26 人)

⑰ 社会教育施設の整備・管理運営

主な取り組み	内訳・実績
計画的な施設整備の実施	とかちプラザの施設整備（汚水ポンプ更新修繕、外壁改修実施設計）、児童会館の施設整備（非常用自家発電設備更新工事等）、百年記念館の施設整備（照明制御装置改修更新工事・1号室壁面タイル撤去、下地補修工事・チラー置場屋上パネルシーリング工事等）、動物園の施設整備（園路整備、キリン舎外放飼場柵改修、新キリン舎実施設計、馬ふれあい舎実施設計、飼料保管庫冷蔵設備修繕）、図書館の施設整備（中央監視装置修繕、エレベーター仕様変更工事等）
適切な管理運営の推進	施設利用者数（とかちプラザ 303,514 人、帯広市図書館 159,779 人、帯広百年記念館 70,113 人、おびひろ動物園 171,302 人、帯広市児童会館 183,062 人、帯広市野草園（園外関連行事含む）18,113 人、帯広市岩内自然の村 3,581 人）

（６） 人が輝く文化芸術活動の推進

⑱ 文化芸術の「つくる・みる・ささえる」人の協働

主な取り組み	内訳・実績
市民文化芸術活動の促進	第 41 回おびひろ市民芸術祭（出演者、出品者数 756 人）、未来に繋ぐアーティスト北の構図展（出品者 3 人）、大ホールでスタインウェイを弾いてみよう！（参加者 128 人）、ティータイムコンサート（出演者 2 人）、第 5 回帯広少年少女合唱祭記念演奏会（532 人）、ロビーコンサート（出演者 2 人）、フルコンサートピアノ弾き比べ体験会（参加者 19 人）、市民文藝第 62 号（102 人、933 作品）、とかちジュニア文芸第 13 号（応募者数 393 人、403 作品）、とかちジュニア文芸文章教室（1 回、18 人）、帯広市民劇場創立 60 周年記念「十勝の大地を生きるアーティスト展」（2,330 人）、帯広市民バレエ公演「眠れる森の美女」（1,206 人）
文化活動団体の活動支援・指導者育成	文化団体等の情報提供（ホームページ掲載団体 251 団体）、帯広市文化賞等（1 団体）、芸術文化活動振興事業補助金（2 団体）、青少年芸術文化活動派遣研修補助金（2 件）
文化芸術の鑑賞機会の提供	オフィス 300「私の恋人 beyond」（896 人）、キエフ・バレエ・ガラ 2022（480 人）、春風亭一之輔のドッサリまわるぜ 2022（301 人）、劇団かかし座「オズの魔法使い」282 人）、高嶋ちさ子 12 人のヴァイオリニストコンサートツアー2022（1,492 人）、世界的テノール歌手ロベール・ヒロンを迎えて～帯広市民オペラの会とともに（564 人）、ティータイムコンサート（106 人）、ロビーコンサート（8 人）

⑱ 文化資源の継承・活用

主な取り組み	内訳・実績
文化財等の調査・保存・活用	埋蔵文化財センターの活動
アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及	アイヌ民族文化理解促進指導用教材の作成（副読本 おびひろ）、アイヌ民族文化情報センター「リウカ」の活動
市史資料収集・保存	年史報告書の執筆・編集（１冊）、市史専門委員会の開催（４回）古文書連続講座の開催（１回）

⑳ 文化施設の整備・管理運営

主な取り組み	内訳・実績
計画的な施設整備の実施	市民ギャラリーの施設整備（展示室壁塗装修繕、冷暖房機修繕、女子トイレ部品修繕）、文化ホールの施設整備（真空遮断器更新、中央監視装置更新）
適切な管理運営の推進	施設利用者数（帯広市民文化ホール 209,162 人、おびひろグリーンステージ 193,595 人、市民ギャラリー29,664 人）

（７） 笑顔をつなげるスポーツ活動の推進

㉑ 多様なスポーツ活動の促進

主な取り組み	内訳・実績
スポーツの振興	スポーツ賞（２個人、１団体）、スポーツ奨励賞（５個人、５団体）
スポーツ団体の支援・指導者人材の育成	スポーツ大会派遣補助（213 件、852 人）、スポーツ少年団本部への支援（少年団数 69 団体、登録者数 1,331 人）、スポーツ少年団指導者育成の支援（328 人）
スケート競技の振興	ほっとドリームプロジェクト（延べ 1,961 人参加）

㉒ スポーツによる活力のあるまちづくり

主な取り組み	内訳・実績
地域スポーツの振興	スポーツ推進委員の配置（委員数 48 人）、各種スポーツ教室の開催（55 回、延べ 1,443 人参加）、総合型地域スポーツクラブへの支援（6 団体）、フードバレーとかちマラソン大会の実地開催（4,497 人エントリー）、学校開放事業（スポーツ開放）（273 団体、延べ 120,976 人利用）
スポーツ大会合宿等誘致	各種全国・全道大会等の誘致及び開催支援（33 大会への支援）、合宿の誘致（宿泊団体数 336 団体、宿泊者数 6,125 人）、プロスポーツ等の誘致

②③ スポーツ施設の整備・管理運営

主な取り組み	内訳・実績
計画的な施設整備の実施	明治北海道十勝オーバル中央監視装置システム改修工事、帯広の森陸上競技場観客席躯体改修工事、帯広の森市民プールプールサイド床改修工事(2期)
適切な管理運営の推進	体育施設利用者数(1,294,907人)

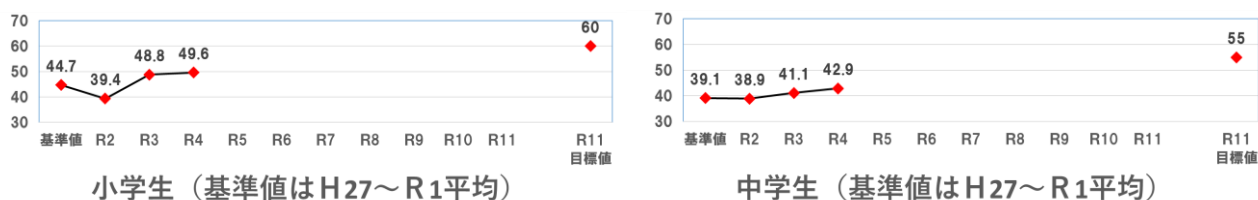
(8) 施策の推進

教育委員会における取り組み
意見交換会(2回、24人参加)、教育委員会会議の会議録のホームページでの公開、社会教育委員会会議の開催(4回)

○ 成果指標の推移

基本施策1：帯広の明日を拓く力の育成

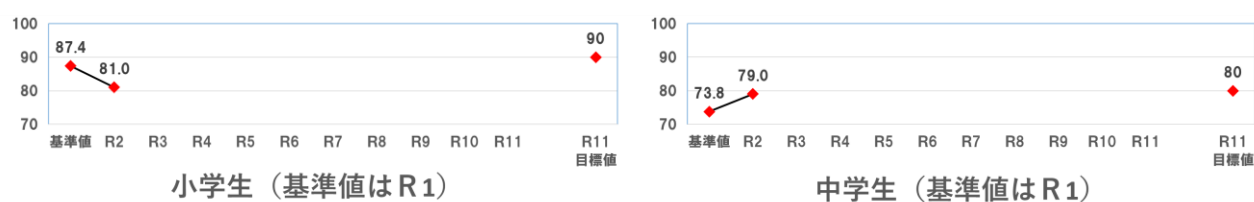
参考図1. 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある子どもの割合(%)



参考図2. 人の役に立つ人間になりたいと思う子どもの割合(%)



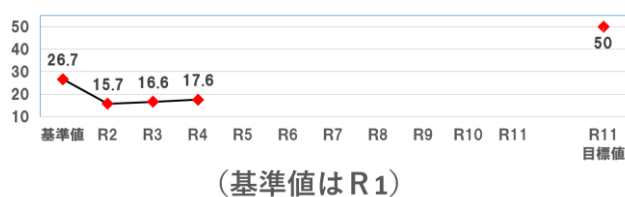
参考図3. 授業でコンピュータなどのICTを活用したいと思う子どもの割合(%)



参考図4. 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う子どもの割合(%)

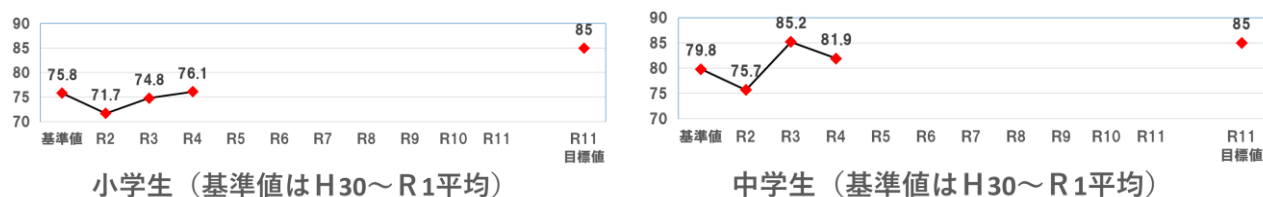


参考図5. 地域貢献活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合(%)



基本施策2：変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成

参考図6. 授業において、課題の解決に向けて自ら考え取り組んでいると思う子どもの割合(%)



参考図7. 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う子どもの割合(%)



参考図8-1. 朝食を毎日食べている子どもの割合(%)



参考図8-2. 1週間当たり60分以上運動・スポーツをする子どもの割合(%)



参考図9. 授業の内容がよくわかると思う子どもの割合(%)



基本施策3：地域とともに育む教育の推進

参考図10. 地域の行事に参加している子どもの割合(%)



参考図11. 家の人と学校での出来事について話をする子どもの割合(%)



参考図12. 小・中学校9年間を見通した授業を行っている学校の割合(%)

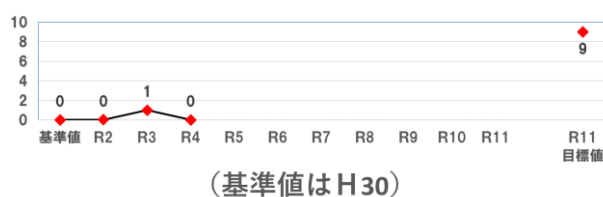


基本施策4：安全・安心な教育環境の整備

参考図13. 「いじめは絶対に許されない」と考える児童生徒の割合(%)

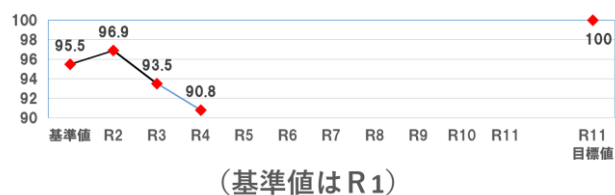


参考図14. 長寿命化改修の実施校数(校)



基本施策5：自ら学びともに支える生涯学習の推進

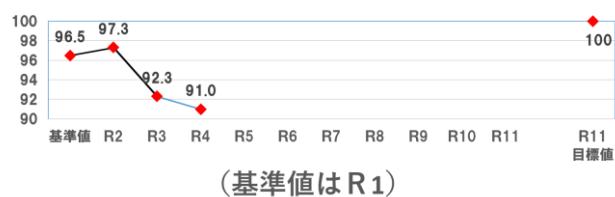
参考図15. 講座の満足度(%)



参考図16. 学習成果をまちづくり、地域づくりなどに生かしたいと思う市民の割合(%)



参考図17. 施設利用者の満足度(%)



基本施策6：人が輝く文化芸術活動の推進

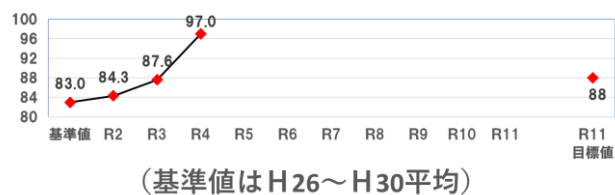
参考図18. 直近1年間に文化芸術の鑑賞活動を行ったことがある市民の割合(%)



参考図19. 市ホームページの文化資源紹介ページの年間総アクセス数(件)

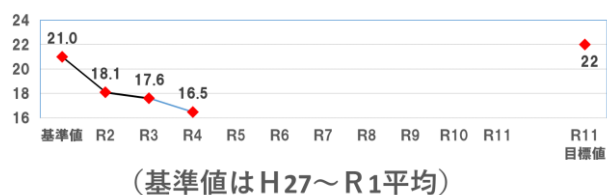


参考図20. 施設利用者の満足度(%)



基本施策7：笑顔をつなげる教育活動の推進

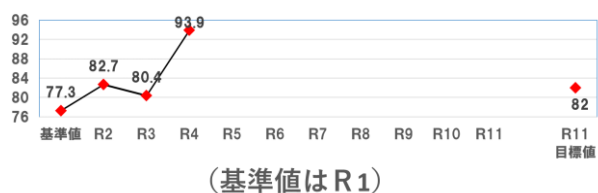
参考図21. 市内小学生数における帯広市
スポーツ少年団登録者数の割合(%)



参考図22. 1年間のうち、する、みる、ささえる
ことでスポーツに関わった市民の割合(%)



参考図23. 施設利用者の満足度(%)



※参考図3. 授業でコンピュータなどのICTを活用したいと思う子どもの割合(%)は、当該年度の全国学力・学習状況調査(文部科学省)における調査項目がなかったため、R4年度の実績値はありません。

※参考図4. 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思う子どもの割合(%)は、当該年度の全国学力・学習状況調査(文部科学省)における質問項目がなかったため、R4年度の実績値はありません。

※参考図11. 家の人と学校での出来事について話をする子どもの割合(%)は当該年度の全国学力・学習状況調査(文部科学省)における調査項目がなかったため、R4年度の実績値はありません。

○ 令和３年度の課題及び今後の方向性に対する令和４年度取り組み

（１） 帯広の明日を拓く力の育成

① ふるさと教育の推進

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度取り組み
地域資源を活用したふるさと理解の促進	○郷土への愛着や誇りを育むため、引き続き「おびひろ市民学」による学びを進めるほか、地域資源や特色を生かしたスポーツ体験や、動物、科学等に触れる機会を提供する	○「おびひろ市民学」において、十勝・帯広の歴史や文化、自然や産業等について小中義務教育学校９年間を通した学びの機会を提供したほか、関係団体の新規協力を拡充、地域の動物をテーマとした講座の実施（おび Zoo 寺子屋 エゾモモンガ編、小学生のための動物園塾、特別講演会「とかちの野生動物の今～大学と動物園ができること～」の実施）
食を通じたふるさと理解の促進	○地域の食や産業への理解促進を目的に、地場産食材を活用した「ふるさと給食」の提供 ○「おびひろ市民学」における「帯広らしい食育プログラム」を実施し、食を通じたふるさと理解を進める	○ふるさと給食の献立リニューアルや、学校給食の魅力等を伝える PR 動画を作成 ○栄養教諭や食育指導専門員による、「帯広らしい食育プログラム」を実施
地域社会に参画する意識の醸成	○各団体等と連携し、感染症対策を実施しながら、体験活動やリーダー研修を行い、養成事業の充実を図る ○計画的な金銭管理の必要性や契約の仕組み等の知識を身に付ける機会を提供するほか、親子防災講座を実施し、ボランティアや防災活動への参加等への意識を高める	○各団体等と連携し、感染対策を考慮した行事内容への変更により、体験活動やリーダー研修を実施 ○租税教室において租税の役割や公共施設の整備について理解を深めるとともに、親子防災講座を実施
環境教育の推進	○学校での環境教育を推進し、子どもたちが地域の自然環境について学び・考える機会を設けるほか、帯広の自然や学校以外の教育施設を活用した体験機会を設ける	○課題解決に当たる主体性を育むため、実社会との結びつきを意識した教育を進めたほか、「帯広らしい環境教育プログラム集」を発行し、ホームページに掲載 ○児童会館や百年記念館での展示・出前講座等により環境について考え学ぶ機会を提供

② 職業観の育成

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の実施
学校におけるキャリア教育の推進	○「おび学ファイル（ポートフォリオ）」を活用し、新たな学習や生活への意欲の育成に取り組めるよう、指導・助言を継続する ○積極的にキャリア教育に取り組んでいる学校の事例について、情報共有を進める	○「おび学ファイル（ポートフォリオ）」を９年間継続して活用し、系統的な学びの充実による社会的・職業的自立に向けたキャリア意識の向上を継続 ○キャリア教育に取り組んでいる学校の事例について、学校間連携が十分に図ることができるよう指導・助言を実施
職業体験機会の充実	○おびひろキッズタウンについては、感染症対策を含めた運営方法や開催時期等の協議を行いながら実施する ○図書館においては、継続的にインターンシップや実習の受け入れ依頼があることから、職業体験機会を提供する ○百年記念館においては、地域資料を収集する博物館としての特色を活かしたインターンシップを継続し、地域に根差した職業体験機会を提供する ○動物園においては、飼育体験等の事業におけるアンケートでの満足度が高いことから、今後も内容の充実に向けて取り組む	○おびひろキッズタウンは感染症拡大の影響により中止 ○図書館においては、非対面型・来館対面型両方の事業の実施により、職業体験の機会を提供 ○百年記念館においては、インターンシップを継続し、地域に根差した職業体験の機会を提供 ○動物園での体験型講座の実施（１日飼育係、小学生の１日飼育係、親子で飼育体験）インターンシップ、キャリア教育（講話）、職業調べへの協力

③ 情報教育の推進

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の実施
情報活用能力の育成	○ICTを活用したスマート農業等、地元企業と連携し、ICTの活用に関する教育を進める	○一人一台端末を使用したICTの活用に関する学習の実施
情報モラルの育成	○SNSの正しい利用やインターネットの安全利用に関する啓発活動に取り組み、情報モラルの育成に取り組む	○関係機関との連携による講演会の開催や、販売店への立入調査などを実施
プログラミング教育の推進	○プログラミング教育を行う単元について、各学校が教育課程へ位置付け、モデル授業や校内実技研修を開催する	○一人一台端末を活用し、発達の段階に応じたモデル授業や校内研修の開催

④ 国際理解教育の推進

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の実施
外国語を用いたコミュニケーション能力の育成	○外国語によるコミュニケーション能力向上のため、小学校における外国語専科教員の配置や外国語指導講師を活用した授業に引き続き取り組む ○外国語指導講師等との触れ合いを通して、外国語による児童生徒の実践的・日常的コミュニケーション能力の向上を図る	○小学校段階から外国語に親しみ、「読む・書く・聞く・話す」技能をバランスよく身に付けるため、各学年段階のつながりを意識した系統的な指導を実施 ○発達の段階に応じた指導計画を作成し、外国語指導講師や国際交流員等を効果的に活用し、体験的なコミュニケーション活動を実施
多様な国の伝統・文化に関する理解の促進	○外国語指導講師による外国語のサポート学習に取り組むほか、体験的な活動を重視した国際理解教育の実践を進める	○世界の民族の多様な言語や文化の違いに気づくことのほか、それぞれの生活・習慣・価値観を理解し協調しながら他国を尊重する姿勢を育むために、外国語指導講師や市の国際交流員との交流等を通じて、多様な国の伝統・文化に触れる機会を提供

⑤ 南商業高等学校における教育の推進

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の実施
商業教育の充実	○商業に関する実践的な知識・技術の定着と目標を持った学習を通じて、実践力を高めたほか、多様な進路に対応した教育課程に取り組む ○感染症の状況に応じて安全に交流できる時期を見定め、マディソン市派遣研修実行委員会等と連携して取り組む	○全国商業実務検定の１級を３種目以上取得した生徒の割合が８２．５％と全道の商業高等学校のなかで最多 ○マディソン市派遣研修は感染症拡大により中止
地域経済に貢献する人材の育成	○外部講師による講習会の開催のほか、進路指導や各種検定試験合格に向けた学習支援等により即戦力となる人材育成の充実に取り組む	○外部講師によるマナー講習会の実施や、インターンシップや先輩訪問の実施
地域社会との連携・協働による教育の推進	○コミュニティ・スクールから学校運営に対する意見をいただき、教育活動について今後も改善を図る	○学校運営協議会の開催

地域とつながる活動の推進	○学校開放講座については、実施手法や内容見直しを進めるほか、感染症の状況に応じて安全にボランティア活動に参加できる時期を見定めつつ、主催者等と連携して取り組む	○学校開放講座、学校全体での生徒によるボランティア活動は感染症拡大により中止
--------------	---	--

(2) 変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成

⑥ 学びを生かす力の育成

主な取り組み	令和3年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和4年度の実施
学校における授業の工夫・改善	○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けて、一人一台端末を活用した授業を通じ、「子ども」が主体となる授業実践を進める	○課題提示や考えの共有、振り返りの場面において、一人一台端末を活用した授業の実施
学習活動の支援	○一人一台端末で活用できる教材作りに取り組むほか、オンラインを活用した学びの保障の充実について検討する ○「ぶっくーる便」については、計画的な入替により子どもたちにとって魅力的な図書を提供する	○Chromebook と親和性の高いアプリケーションの開発したほか、常時ダウンロード可能な小中学生向け教材のホームページへの掲載 ○令和4年度の「ぶっくーる便」は、計画的な図書の入替により、705 件（前年比 115 件増）と利用件数が増加
教育課程の工夫・改善	○目標の実現に必要な教育の内容等を横断的な視点で組み立てるカリキュラム・マネジメントの充実を進める	○市内全小中義務教育学校の適切な教育課程の編成と学習指導の改善に資するために「教育課程編成の手引き」を作成
学力の分析・検証	○学力分析・検証の精度を更に高めるために、より検査母数の多い学力調査を採用し、分析や検証方法を刷新し、学校に還元する	○標準学力調査を利用し、カテゴリー別正答率・目標値・平均正答率の3つのデータから子どもたちの学力の傾向を分析を受けて指導方法の改善のための手立てについて検討し、学校に還元

体験的・問題解決的学習の推進	○図書館や児童会館では、各種の学習機会を提供し、オンラインの活用等による実施方法の検討を進める	○図書館では、帯広畜産大学と連携し、夏休み、冬休みに自由研究のヒントとなる課題解決型講座を開催 児童会館では、プラネタリウムや科学展示室、宿泊学習での科学実験学習や親子科学実験教室、工作教室を開催し、科学や自然を学ぶ体験機会を提供
----------------	---	--

⑦ 豊かな人間性と創造性の育成

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の実施計画
道徳教育の充実	○道徳科の授業改善や子どもたちの道徳性を育てる取り組みを進める	○校内外における教職員向け研修の実施、他教科との関連や評価の充実等による道徳科を要とした教育活動の展開
読書活動の推進	○電子書籍の利用を通して読書活動の活性化に取り組む ○将来の担い手として、「語り手育成講習会」等により新規ボランティアを養成する	○図書ボランティアによる読み聞かせ活動の実施、朝読書等における電子書籍の活用 ○「語り手育成講習会」における入門編、ステップアップ編の実施
文化芸術活動の推進	○ICTを活用した演劇鑑賞等の良質な文化芸術に触れる機会を提供する ○各学校の学習発表会や文化祭の様子の発信等の取り組みを通し、感染症対策を講じながら子どもたちの情操教育を進める	○子ども向け鑑賞機会提供事業を実施 ○各学校において ICT を活用しながら、より効果的な各学校の学習発表会や文化祭の実施
体験活動の推進	○各種社会教育施設と連携し、魅力ある体験活動を今後も提供する	○児童会館での科学教室・工作教室等の開催 動物園での体験型講座の実施（１日飼育係、親子で飼育体験）

⑧ 健やかな体の育成

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の実施計画
体力・運動能力の向上	○子どもたちの体力・運動能力の分析・検証を通し、授業改善を進める	○体力向上推進プロジェクトチームによる研修会の開催及び各学校への派遣指導の実施

安全・安心な学校給食の提供	○地場産食材の導入を進めるほか、適切な栄養バランスを考慮した学校給食の提供により児童生徒の健全な心身の発達を図る ○食物アレルギーに関する正確な情報及び除去食の提供を行い、学校給食における事故防止に取り組む	○安全安心な地元産食材の導入促進 ○食物アレルギーを持つ児童生徒に対してアレルギー除去食（卵、乳）の提供、「給食だより」へのアレルギー情報の表示
正しい「食」への理解の推進	○「食育通信」等の資料の配布や、帯広市食育推進部会による児童生徒と家族が一緒に朝食作りに取り組むイベントを実施する ○図書館では食育月間に合わせて、食をテーマにした映画会・おはなし会を開催する	○「食育通信」の発行 ○食の映画会「お料理帖」の上映、食に関するコラボおはなし会の開催
健康教育・健康保持	○子どもたちが性に関する正しい知識を身に付け、発達の段階に応じた教育を進める ○感染症対策の取り組みを継続し、学びの機会の確保を図る	○生理の貧困問題等についての情報交換等を実施、心身の発達に関して理解を深め、自分や他者の価値観を尊重し相手を思いやる心を醸成できるよう、国や道からの通知等の情報を提供 ○感染症の流行等により、学びの機会が失われないよう、学校生活での感染症対策を実施

⑨ 教員の資質・能力の向上

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度取り組み
教員の指導力の向上	○学力向上推進プロジェクトチームによる学級経営・授業改善ワンポイント講座の実施を通じて、教員の資質能力や豊かな人間性と社会性の向上に取り組む ○教職員向けの研修については、一人一台端末の活用や今日的な課題を取り上げる等、教職員の技能や指導力向上につながる講座の企画に取り組む	○指導主事による学校教育指導訪問において、管理職や教職員に指導・助言を行ったほか、学力向上推進プロジェクトチームによる授業改善ワンポイント講座を実施 ○OICTの効果的な活用を一層促進するため、夏季・冬季研修講座において、Google 本社から講師を招いた研修の実施や、「おび GIGA 支援員」を各学校に派遣し、巡回支援を実施

教職員の働き方改革の推進	○「帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン（第2期）」に基づく取り組みを推進する ○教職員の業務効率化のため、令和4年度における校務支援システムの導入を進める ○教職員向けの研修については、感染症の状況を踏まえながら、教職員の負担軽減に向けた体制づくりを進める	○専門スタッフや加配教員等の配置による支援のほか、学校閉庁日の設定による休養日の確保、ＩＣカードを利用した勤怠管理等の継続推進 ○教職員の業務効率化のため校務支援システムを導入 ○校務支援システムの活用の促進や操作の定着を図るため、研修会等を実施
--------------	--	--

（３） 地域とともに育む教育の推進

⑩ 地域との連携・協働の推進

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の実施計画
地域における支援体制の充実	○「地域とともにある学校づくり」を進めるため、令和４年度中に全校でコミュニティ・スクールを導入する ○指導主事による取り組み状況に応じた全国の好事例の情報提供に取り組む ○学校と地域との連携した活動や地域コーディネーターの研修等に取り組む ほか、こども学校応援地域基金を活用した支援を周知し、ボランティア団体間の連携した活動の拡大を図る	○令和４年１０月をもって、全市立学校でコミュニティ・スクールを導入 ○指導主事による他校の好事例の提供 ○ＯＣＳ 委員や地域コーディネーター等を対象とした研修会を実施（２回）したほか、こども学校応援地域基金を活用した交付金の交付（１０団体）
子どもの安全対策の充実	○地域ぐるみで見守り活動に取り組むほか、「帯広市子供安全ネットワーク」の周知を進める ○通学路の安全確保については、関係機関と情報の共有を図り、危険個所の合同点検を実施する ○登録者の確保により「子ども 110 番の家」設置個所の拡充を図る	○登下校時の見守り活動の実施や、「帯広市子供安全ネットワーク」を活用した情報発信 ○通学路危険個所の点検と公表 ○登下校時にその身に危険が迫った場合等に逃げ込む「子ども 110 番の家」の設置（996 箇所）
地域主体の体験活動への支援	○子どもの居場所づくり事業は、実施方法や PR 活動を工夫する	○プラザまつりや市内小売店等での PR 活動の実施

⑪ 家庭教育への支援

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の実施
教育相談の充実	○教育相談員体制のさらなる充実と、より有効な教育相談員の活用を図るため、配置日数の調整等の工夫を進める	○家庭訪問相談員や心の教育相談員の配置、配置日数の調整や相談員会議等における研修の実施
家庭教育力向上のための支援	○図書館における絵本セットの内容の充実を進める ○ライフスタイルの変化による児童生徒の食生活の乱れを改善するため、「食育通信」の配布	○図書館では、利用状況により定期的に絵本セットの内容を精査 ○食育通信の配布
P T Aとの連携の促進	○各校のPTAや帯広市PTA連合会等との情報交換を進めるほか、関係団体への行政支援を継続し連携も深める	○帯広市P T A連合会へ補助金の支出、後援などによる支援の実施

⑫ 学びと育ちをつなぐ学校づくりの推進

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の実施
学校間の連携の推進	○小中一貫教育の更なる充実に向け、教育課程の見直し及び編成を進める ○幼保・小・中における授業交流や乗り入れ授業を行うとともに、小中教員による部会を設定し、教育実践の交流や教育課題の共有を図る	○「帯広市エリア・ファミリー構想」に基づき、教育課程の見直し及び整備の実施 ○職員間交流を通じた、情報の共有
通学区域の見直しの実施	○小中学校の連携や地域ぐるみの教育を一層推進するため、学校の適正規模の確保に関する取り組み ○通学距離、幹線道路、河川等の地理的条件や地域コミュニティとの整合性、一つの小学校から複数の中学校に分かれる分散進学の見直し等に配慮し、通学区域の見直しを進める	○「帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する基本計画」に基づき、小規模校における近隣校との交流授業の推進・実施 ○通学区域の見直しの検討

(4) 安全・安心な教育環境の整備

⑬ 誰もが安心して学べる教育の推進

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の実施
いじめ・非行の防止	○いじめの未然防止や就学に対する支援等、誰もが安心して学ぶことができる環境の整備を進めるほか、街頭巡回指導等や非行防止活動に取り組む	○帯広市青少年「いじめ・非行防止標語」事業を実施したほか、地域の指導協力員と街頭巡回指導等を通じた非行防止活動を実施
不登校への対応	○教育相談員の専門性の向上を図る研修の実施や相談体制の充実、関係機関との連携強化を進める	○関係機関との連携および教育相談員の専門性の向上を図る研修の実施
教育機会の確保	○就学や通学に関わる経済的な支援を進める ○スクールバスの安定的な運用のため、車両更新や運転手の確保について検討する ○市内高校の間口を維持・確保するため、各種会議等の機会を通して、情報収集や要望活動を行う	○就学援助費の支給および奨学金の貸与 ○スクールバスの定期的な点検と修繕の実施 ○「公立高等学校配置計画地域別検討協議会」での情報収集
一人ひとりに応じた教育の充実	○教育相談体制の確保と関係機関との連携強化を図るとともに、特別支援学級の継続設置や通級指導教室の開設等により、多様な学びの場の整備を進める ○教職員向けの研修により、LGBT等やHSC（Highly Sensitive Child）、ヤングケアラー等の理解促進の取り組みを進める	○感染症対策に取り組みながら教育相談を実施し、一人ひとりの特性や、成長の度合いに応じた適切な就学先を勧奨し、多様な学びの場の整備を進めた ○LGBT等の当事者を招いた研修の実施

⑭ 安全で充実した教育環境の整備

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の取組み
学校施設の整備	○「帯広市学校施設長寿命化計画」に基づき、計画的かつ継続的な修繕を行い、学校施設の長寿命化及び機能・性能の改善に取り組む	○小中義務教育学校においては、ボイラー改修、校舎屋根葺替工事、校内無線 LAN 追加整備、多目的室等への網戸設置、大空学園義務教育学校グラウンド整備 南商業高等学校においては、エレベーター更新、図書室等網戸設置、多目的ホール排煙オペレーター修繕
学習環境の整備	○小中学校においては、一人一台端末の活用範囲の拡大を進める ○南商業高等学校においては、高度な資格取得のため、第一情報処理室等の情報機器の整備・更新を進める	○授業での一人一台端末の活用を進め、長期休業時での持ち帰りにより、自宅での学習に活用 ○南商業高等学校においては、総合実践室情報処理機器を更新
学校適正規模確保の推進	○児童生徒数及び学級数を推計し、結果について市民へ情報提供する ○学校の小規模化による影響の緩和を図る取り組みを進める ○児童生徒数及び学級数の推計を基に「後期対象校」の選定を実施	○児童生徒数及び学級数、今後の推計値のホームページ上での公開 ○近隣校における交流授業の実施 ○後期対象校の検討

(５) 自ら学びともに支える生涯学習の推進

⑮ 学習活動の促進

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の取組み
学習機会や情報の提供	○市民が参加しやすい学習機会を提供するほか、生涯学習情報誌「まなびや」により、情報提供に取り組む ○図書館では、必要な情報を引き出しやすいよう電子化して公開するなどの仕組みづくりの検討を進める ○百年記念館では、博物館ならではの講座の開催、展示の企画に取り組む ○動物園では、アンケートでの満足度が高いことから、今後も内容の充実を図る	○市民大学講座の実施、生涯学習情報誌「まなびや」の発行 ○図書館では、小学校３・４年生社会科副読本「おびひろ」を帯広市電子図書館において電子化 ○博物館講座「史料が語る晩成社の140年」の開催 ○教育講座（おびＺｏｏ寺子屋等）、体験講座（飼育体験ほか）、Ｚｏｏｍ講座の実施（とかち帯広のエゾリス・サバイバル）やSNSによる情報発信

⑩ 学習を通じたまちづくり

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の実施計画
自主的な学習活動の支援	○図書館では、ボランティアと情報交換を図りながら相互連携を進め、活動を支援する ○百年記念館では、ボランティア活動を行う人員の充実に向けて取り組む ○動物園では、今後も学生等の活動主体が積極的に活動できるよう支援する ○地域の生涯学習活動では、生涯学習推進委員会等の社会教育団体が地域で行う多様な活動の支援に取り組む	○帯広図書館友の会の記念事業を実施 ○百年記念館では、ボランティア養成講座の実施、既存会員の研修の実施 ○学生のボランティア活動に対する助言等のサポートの実施 ○生涯学習推進委員会によるコミュニティ講座において、地域住民への生涯学習機会や交流機会を提供
地域の人材の育成・活用	○生涯学習指導者登録制度の認知度を高め、情報発信の強化を図り、登録者数の確保に取り組む	○生涯学習指導者登録制度での、指導者登録、地域における生涯学習活動の支援のために情報発信強化

⑪ 社会教育施設の整備・管理運営

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の実施計画
計画的な施設整備の実施	○「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む	○公共マネジメント計画に基づく各館の施設整備の方向性に沿い、適切な点検に基づく各種老朽度合の把握や優先順位を踏まえた修繕、工事を実施 とちプラザにおける外壁改修実施設計、汚水ポンプ更新修繕 帯広市民文化ホールにおける中央監視装置更新、真空遮断器更新 図書館における中央監視装置修繕、エレベーター仕様変更工事 児童会館における非常用自家発電設備更新工事 動物園における園路整備工事の実施、新キリン舎実施設計、馬ふれあい舎実施設計、動物園飼料保管庫冷蔵設備修繕、キリン舎外放飼場柵の改修

適切な管理運営の推進	○とにかちプラザでは、指定管理者による適切な管理運営と利用者サービスの向上に取り組む ○図書館では、施設管理のなかで類似的な業務について、集約して管理委託が可能か検討する ○児童会館では、科学展示室の展示やプラネタリウム投影、各種イベントやクラブを開催するほか、学びと遊びの機能の充実に取り組む ○百年記念館では、利便性の向上を図るほか、効果性・効率性にも配慮した管理運営を進める ○動物園では、講座等の学習機会の提供やレクリエーション機能の充実に取り組む	○指定管理者への適切な支援と、安定的運営による、利用者サービスの維持 ○適切な管理運営のため、防災設備の点検に関する委託業務の一元化に向けた見直しを実施 ○科学展示室の展示やプラネタリウム投影、各種イベントやクラブを開催したほか、木育推進事業として、新たな木製遊具を導入し、「木のおもちゃランド」を開設 ○講座や体験教室など、人数制限を設け開催 ○感染症対策を講じながら一日飼育係やおびＺｏｏ探検隊等の講座のほか、海の日やハロウィンイベントを実施
------------	---	--

（６） 人が輝く文化芸術活動の推進

⑱ 文化芸術の「つくる・みる・ささえる」人の協働

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の実施
市民文化芸術活動の促進	○感染症対策を行いながら、安心して参加できる環境づくりを進め、市民に発表の機会を提供する事業を継続する ○「とにかちジュニア文芸文章教室」を開催し読解力・表現力の向上を図る ○市民の文化芸術活動を支援するため、今後も学校施設の開放事業を行う	○感染状況に応じた国や道のイベント開催の指針等に従い、市民芸術祭や市民バレエ等の事業を実施 ○とにかちジュニア文芸文章教室の開催 ○学校施設の開放事業の実施
文化活動団体の活動支援・指導者育成	○文化団体等の活動情報提供を継続するほか、文化活動を行う個人・団体の顕彰や支援を行う	○ホームページなどを活用し、文化団体の活動情報を提供し、文化活動功労賞による表彰（１団体）
文化芸術の鑑賞機会の提供	○市民が良質な文化芸術を直接鑑賞する機会の提供に取り組む ○北海道立帯広美術館の特別企画展へ参画する	○音響コンサートや演劇、落語、バレエ等の公演の実施 ○「銀の匙 silverspoon 展」の開催

①⑨ 文化資源の継承・活用

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の実施計画
文化財等の調査・保存・活用	○文化財の適切な管理や、必要性に応じた史跡標示板の修繕を行う ○「八千代 A 遺跡出土品」を適切に保存し積極的に活用するため、計画的に取り組みを進める	○文化財の管理及び史跡標示板の修繕、埋蔵文化財センターを中心に開発行為と埋蔵文化財保護の調整 ○「八千代 A 遺跡出土品」を活用した学校用教材の作成、市内の文化財や史跡を紹介するリーフレットの制作・配布、ぶらり帯広・文化財めぐり及び十勝鉄道蒸気機関車 4 号及び客車コハ 23 号の公開
アイヌ伝統文化の調査・保存・継承・普及	○帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助及び伝統的生活空間再生事業を継続し、アイヌ伝統文化の保存・継承団体への支援に取り組む	○帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助金による活動の補助、伝統的生活空間（イオル）再生事業として古式舞踊の披露や植物観察会等の講座を実施
市史資料収集・保存	○「年史報告書」の作成に取り組むとともに、令和４年度の帯広市開拓 140 年・市制施行 90 年の周年事業実施を通じて、資料収集事業に取り組む	○各種の周年事業に際し、これまで蓄積したデータを活用しながら企画を構成し、企画を通じて、新しい資料の発掘等の情報収集

②⑩ 文化施設の整備・管理運営

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の実施計画
計画的な施設整備の実施	○「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通じ、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む	○帯広市民文化ホールにおける、館内の空調類のコントロールを担う中央監視装置の更新、停電時に非常電力の効率的な供給に重要な役割を果たす真空遮断器不足電圧継電器の改修 - 百年記念館において、施設の照明制御装置の改修更新工事、1 号室の壁面タイルの撤去工事
適切な管理運営の推進	○適切な管理運営と利用者サービスの向上に取り組む	○指定管理者への支援の実施、指定管理者の節減努力による安定した施設運営

(7) 笑顔をつなげるスポーツ活動の推進

⑪ 多様なスポーツ活動の促進

主な取り組み	令和3年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和4年度の実施計画
スポーツの振興	○競技大会への選手等の派遣支援を通して、競技スポーツ活動を支援するほか、スポーツ賞、スポーツ奨励賞の実施や市民へのスポーツ観戦機会の提供により、スポーツ振興を進める	○大会派遣に係る経費の補助及びスポーツ賞等による団体、個人への表彰したほか、合宿・プロスポーツ等の誘致による市民へのスポーツ観戦機会の提供
スポーツ団体の支援・指導者人材の育成	○感染症対策等の正確かつ最新情報の提供を行うとともに、少年団へ安心して加入できる環境づくりや安全確保に関する指導者への研修を進める	○スポーツ少年団本部及びスポーツ協会を通じた指導者への研修等の支援
スケート競技の振興	○各種競技スポーツを普及し、競技者人口の拡大や競技力の向上に取り組むほか、各種大会等の開催支援する ○「ほっとドリームプロジェクト」や、明治北海道十勝オーバルの十勝管内小学校への授業開放を通して、スケート競技の普及促進に取り組む	○全国高等学校選抜スピードスケート競技会をはじめとする各種大会等の開催支援 ○「ほっとドリームプロジェクト」の実施、明治北海道十勝オーバルの十勝管内小学校への授業開放

⑫ スポーツによる活力のあるまちづくり

主な取り組み	令和3年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和4年度の実施計画
地域スポーツの振興	○スポーツ教室の開催を通じて、より多くの市民がスポーツに親しみ、楽しむことのできる機会づくりに取り組む ○学校施設のスポーツ開放においては、市民へのスポーツ活動の場を提供するため、学校現場等への感染症の影響に配慮し取り組む	○スポーツフェスティバルの開催 ○利用者等に向けて感染予防に関する情報提供を行い、市民へのスポーツ活動を提供
スポーツ大会合宿等誘致	○スポーツ合宿の誘致については、各競技団体と連携を図り、感染症対策を講じながら受入体制の整備を進める	○レバンガ北海道(バスケットボール)の合宿受入れ ○クラブユースサッカー選手権(U-15)大会、プロ野球公式戦、フットサルとマラソンの開催

②③ スポーツ施設の整備・管理運営

主な取り組み	令和３年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和４年度の実施
計画的な施設整備の実施	○「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通じ、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む	○明治北海道十勝オーバル中央監視装置システム改修工事、帯広の森陸上競技場観客席躯体改修工事、帯広の森市民プールプールサイド床改修工事（２期）
適切な管理運営の推進	○多様化していく利用者ニーズに効果的・効率的に対応するため、指定管理者制度の導入を進める ○地域住民や団体の協力による管理運営に取り組む	○スポーツ施設における指定管理者制度の導入 ○パークゴルフ場における市民協働による管理運営の実施